

年 報

—平成 25 年度—

2014

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

はじめに

平成 25 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 25 年度は積極的に企画展を開催した 1 年でした。1 年間に実施した本数はこれまでで最も多い 7 本です。年度当初の計画では 5 本でしたが、年度途中に共催展の開催の話が具体的に進んだため、急遽、2 本の企画展を計画に組み込みました。

企画展の内容としては、6 月に近年受け入れた資料の公開を目的としたミニ企画展「新収蔵資料展」を、続いて夏休み企画として、7 月から 8 月にかけて夏季企画展「大磯町の多彩な貝の世界」を開催しました。9 月には学校法人国際学園及び一般財団法人世界こども財団との共催で東日本大震災復興支援事業として「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」作品展を開催し、10 月から 11 月にかけて「一村寺領 高麗寺村」のテーマで高麗寺村の古絵図、古文書を展示しました。また、12 月には秦野市、中井町、二宮町、大磯町広域行政推進協議会主催の湘南軽便鉄道 1 世紀記念事業「湘南を走った小さな汽車」を、1 月は新春企画展・横溝コレクション「馬！うま！午！」、2 月から 4 月にかけて春季企画展「きらびやかな雛人形の世界」を開催しました。例年より多くの回数の企画展を開催したことにより、多方面のニーズにこたえられ、入館者数は前年度に比べ 15 パーセント増につながりました。

学級・講座につきましては、「大磯自然観察会（平成 11 年度開始）」、「海の教室（平成 12 年度開始）」、「古文書裏打クラブ（平成 16 年度開始）」、「海の森クラブ（平成 22 年度開始）」、「石仏クラブ（平成 23 年度開始）」、「古文書解読クラブ（平成 24 年度開始）」を継続して実施しております。

今後も「湘南の丘陵と海」のテーマのもと、多くの方々が興味を持ち、ご来館いただける活動を進めていきたいと考えています。引き続き、郷土資料館活動につきまして、ご理解・ご協力を賜われますよう、よろしくお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

目 次

[事業報告]

庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・企画展	4
・湘南軽便鉄道1世紀記念事業「湘南を走った小さな汽車」	7
・学級・講座	8
・学校教育との連携	11
・他の博物館・生涯学習施設との連携	12
・ホームページを活用した情報発信	12
・刊行物	12
・調査・研究・普及	13
・博物館実習	15
・博物館資料の収集、整備、利用	16

[研究報告]

講座『みんなで町の自然を調べよう～身近な草木の実と冬の花しらべ～』及び 学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬』の実施報告 北水 慶一	28
大磯町大磯地区北下町の御札資料からみる信仰範囲 保坂 匠	41
博物館が所蔵する文献資料の整理における ISAD(G)の考え方の応用 —大磯町郷土資料館における整理方法を検討して— 富田 三紗子	44

事業報告

庶 務

■ 組織および職員

教育長	教育部長	生涯学習課長	郷土資料館	副主幹／学芸員	北水 慶一
依田 勝也 (～12月31日)	福島 伸芳	佐川 和裕	館長 國見 徹	主 事／学芸員	富田(大石)三紗子
藤家 崇 (1月5日～)				主事補	曾根田貴子
				臨時職員／司 書	諏訪部房代
				臨時職員／自然観察指導員	高山 優美
				臨時職員／学芸員	保坂 匠
				臨時職員／学芸員	菊地 悠介

■ 運営委員会

<委員の構成>

- ・委員長／近藤 英夫 (学識経験者)
- ・副委員長／稲葉 和也 (家庭教育の向上に資する活動を行なう者)
- ・委員／広谷 浩子 (学識経験者)
新見由美子 (社会教育関係者)
山田 茂広 (学校教育関係者)

<委員会の開催>

- ・第1回／平成25年7月12日
 - 議題1 平成24年度事業報告について
 - 議題2 平成25年度事業の進捗状況について
 - 議題3 展示リニューアルについて
- ・第2回／平成25年10月22日
 - 議題1 平成25年度事業進捗状況報告について
 - 議題2 展示リニューアル等について
 - 議題3 秋季企画展「一村寺領 高麗寺村」について
- ・第3回／平成26年3月19日
 - 議題1 平成25年度事業進捗状況報告について
 - 議題2 平成26年度事業計画及び予算について
 - 議題3 展示リニューアル等について
 - 議題4 春季企画展「きらびやかな雛人形の世界」について

■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
金額	54,050,000	44,911,000	46,633,000	40,956,000	43,650,000	46,587,000

<平成25年度決算>

事業	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	資料整備	計
金額	2,056,747	11,264,177	2,708,887	1,109,127	1,018,193	18,157,131

□職員給与 (4人分) 25,782,390円 ■歳出合計 43,939,521円

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／(株)郵生
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・空調機器給水設備保守委託／(株)根布工業
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業(有)
- ・自家用電気工作物保守委託／荻野電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／(株)ヒラボウ
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店
- ・燻蒸委託／関東港業(株) 横浜営業所

<修繕>

- ・貯湯槽置場漏水修繕／(株)神名テックス
- ・エレベーター光電管修繕／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・電話交換機障害修理／東陽工業(株)
- ・ドアクローザー修繕／湘南サッシ(株)
- ・PC液晶ディスプレイ修繕／NECフィールディング(株) 小田原営業所
- ・盤内屋外照明制御用タイマー交換修繕／(株)望月電気工事

■ 入館者

<入館者数の推移>

単位：人、日

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	累計(昭和63年～)
入館者数	34,927	29,782	27,049	25,349	29,179	821,164
1日平均/開館日数	119/294	102/291	93/291	86/295	101/290	112/7,311

<月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,141	2,820	1,882	2,051	2,134	2,268	2,861	3,442	2,425	2,375	1,924	2,856	29,179
1日平均	89	108	75	103	82	95	110	138	105	103	84	114	101

<見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	2	2	2	2	0	3	4	2	1	2	1	22

<研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	10	8	9	8	5	12	11	9	7	11	13	111

学 芸

■ 企画展

〔平成 24 年度から継続〕

春季企画展『大磯の災害 —かつてこの地で起きたこと—』

期 間／平成 25 年 3 月 9 日(土)～5 月 12 日(日)

開場日数／54 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

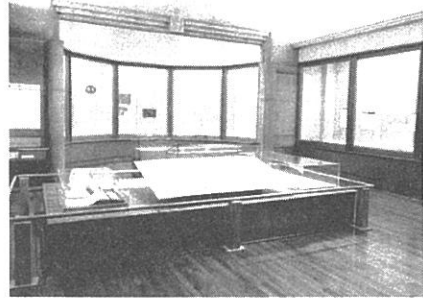
出品点数／約 63 点

料 金／無料

入場者数／6,277 人

(趣旨・内容) 東日本大震災をきっかけに各地で歴史災害が注目される中、大磯町においても過去の災害に対する関心が高まっている。東日本大震災から 2 年、また、関東大震災から 90 年という節目を機会に、大磯町域にかつて被害を与えた自然災害について、歴史資料を中心に考古資料や地質資料も交えて展示と解説を行なった。詳細については前年度(平成 24 年度)の年報を参照願いたい。

(担 当) 大石



ミニ企画展『新収蔵資料展』

期 間／平成 25 年 6 月 2 日(日)～23 日(日)

開場日数／19 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 73 点

料 金／無料

入場者数／1,372 人

(趣 旨) 近年、収集または購入した資料等を公開し、郷土資料館の収蔵資料を活用する。特に寄贈資料については寄贈者が展示を望まれている場合もあり、実際に展示を行なうことによって、寄贈者の要望に応える。

(内 容) 最近 5 年程度に収集した資料、あるいは活用できるようになった資料を、分野を問わずに紹介した。

〔主な展示資料〕

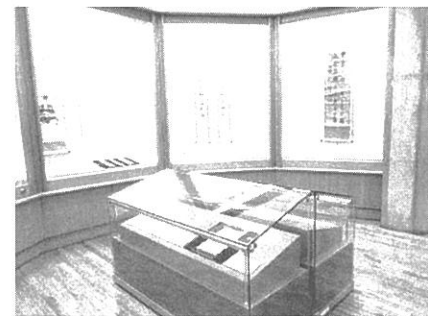
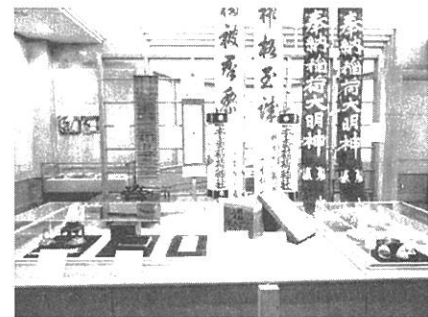
〔考古〕 旧岩崎家別邸貯水施設出土資料(赤煉瓦等)、旧梨本宮守正別荘出土資料(焼継資料等)

〔自然〕 アカウミガメ(子ガメ)の剥製 18 体

〔歴史〕 井上益夫氏旧蔵資料(大澤寿道・高橋鳩雨書幅、島田立宇書幅、小野懐之書幅、伊藤博文書、安田靫彦画幅)、小見滋夫氏旧蔵資料(助役時代の日記)、神崎秀珠氏旧蔵資料(吉田茂書幅)、河野南歐子氏旧蔵資料(山縣有朋賛の書画幅、島崎藤村直筆の色紙)、購入資料(「嶋立澤記」、松本順書簡)

〔民俗〕 稲荷講資料、庚申講資料など

(担 当) 大石・國見・北水・保坂



夏季企画展『大磯町の多彩な貝の世界』

期 間／平成 25 年 7 月 20 日(土)～8 月 31 日(土)

開場日数／36 日間

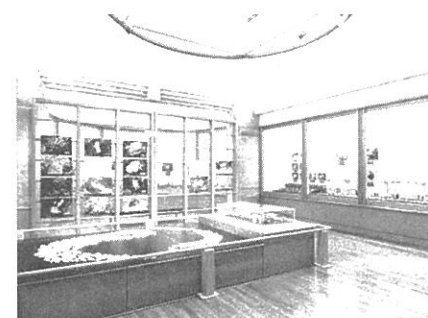
会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 1,000 点

料 金／無料

入場者数／3,099 人

(趣 旨) 大磯町では、これまでに約 600 種類の海産貝類が確

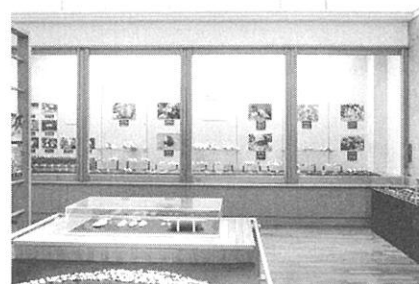


認されている。照ヶ崎海岸の岩に付着している貝、北浜海岸に漂着している貝を見ると、どれも同じようで種類が多いように思えないが、実はとても種類が豊富である。また、日頃見かけることが少ない近海の貝は、変わった形をしているものが多く興味を引く。大磯町の周辺海域で採集した実物資料をとおして、海産貝類の多様さを学ぶ機会とする。

(内 容) 大磯町で採集した約 230 種の貝類標本を展示した。

「二枚貝のいろいろ」、「巻貝のいろいろ」、「貝の仲間」、「南那津子氏採集海産貝類コレクション」の 4 つのテーマに分けて紹介した。標本以外に海中や岩場で撮影した貝の写真を展示して、特徴的な生態についても触れた。

(担 当) 北水・高山



東日本大震災復興支援事業「ミネルヴァのふくろうと明日の日本」作品展

期 間／平成 25 年 9 月 8 日(日)～9 月 29 日(日)

開場日数／19 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／21 点

料 金／無料

入場者数／2,018 人

共 催／大磯町、星槎グループ一般財団法人世界こども財団、
星槎グループ学校法人国際学園

協 賛／レンゴー株式会社

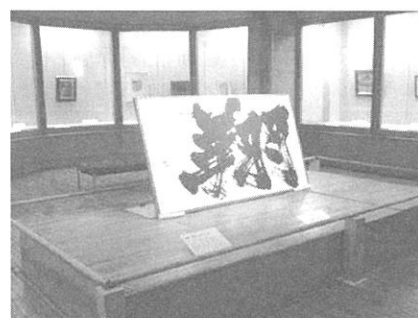
後 援／文化庁、神奈川新聞社、大磯町商工会、社団法人大磯町観光協会、株式会社かまくら春秋社、東京大学医科学研究所 上研究室、東京大学医学部医学系研究科 渋谷研究室

(趣 旨) 東日本大震災後 2 年が経過し、復興の過程で文化芸術の持つ力がさまざまな形で認識されている。復興支援に賛同した日本を代表するアーティスト 21 名の作品展を開催することで、文化芸術を通じた被災地への持続的支援の必要性や可能性を考える。また、次代を担う子どもたちに「本物」に触れる機会を提供し、自主性や創造力を育むことを目的とする。

(内 容) アーティスト 21 名の作品を展示した。

アーティスト／赤塚祐二、天野純治、池口史子、池田良二、入江観、遠藤彰子、大津英敏、岡本半三、奥谷博、笠井誠一、金澤翔子、瓜南直子、絹谷幸二、久野和洋、嶋田しづ、千住博、中島千波、平松礼二、丸山直文、柳澤紀子、山口啓介

(担 当) 佐川



秋季企画展「一村寺領 高麗寺村」

期 間／平成 25 年 10 月 12 日(土)～11 月 30 日(土)

開場日数／42 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約 41 点

料 金／無料

入場者数／5,300 人

(趣 旨) 現在の高麗にあたる地域は、江戸時代には、高麗寺の直轄地である高麗寺村として特徴的な性格を持っていた。数ある寺社の中でも、一つの村が丸ごと領地になることは珍しく、県内でも数えるほどである。郷土資料館では、この高麗寺村関係の古文書を所蔵しているが、今までこれらの資料を全面的に公開することはなかった。本年度の資料整備事業によって、新たにこれらの資料を見直し、その成果として、一村寺領としての特徴を有する江戸時代の高麗寺村を紹介する。

(内 容) 「絵図から見る高麗寺村」、「高麗寺と高麗寺村」、「高麗寺住職慧歎(えいかん)の改革」、「高麗寺から高来神社へ」の 4 つのテーマ構成で、郷土資料館が所蔵する高麗資料および曾根田重和家旧蔵資料を中心に展示した。

1) 絵図から見る高麗寺村

内 容：高麗寺村には複数の絵図が残されており、それぞれに高麗寺の境内図が掲載されている。



それらの視覚的な資料を展示すると共に、絵図を基にして復元した模型等も展示した。

展示資料：高麗寺村領地絵図 など

2) 高麗寺と高麗寺村

内 容：高麗寺の由来や、高麗寺村の成り立ち、人口などの規模を紹介した。

展示資料：村明細帳、宗門人別帳、皇国地誌村誌 など

3) 高麗寺住職慧歎の改革

内 容：高麗寺の41世住職慧歎は、江戸時代の中頃に高麗寺の住職を務め、本堂の再建や寺領の整理などを行ない、高麗寺の改革者と言われている。このテーマでは、慧歎の改革に関する資料を展示し、適宜イラストを使って紹介した。

展示資料：「自坊修復建立・其外掛り合一件・本堂再建銘細帳 控」、境争論関係資料、「田畑高割付帳」 など

4) 高麗寺から高来神社へ

内 容：高麗寺は明治政府の神仏分離令によって廃寺となった。このテーマでは、高麗寺から高麗神社への移り変わりとして現在へのつながりを紹介した。

展示資料：高麗神社関係資料、高麗寺再興願い関係資料、慶覚院移転関係資料

〔関連行事〕

講演会「高麗寺領を改革する！—高麗寺41世慧歎の挑戦—」

日 時／平成25年11月24日（日）14時～16時

会 場／郷土資料館 研修室

講 師／馬場 弘臣 氏（東海大学教育研究所教授）

参加人数／57人

（内 容）秋季企画展に関連して江戸時代の高麗寺村の様相を紹介し、郷土の歴史についての理解を深めるため、高麗寺村の成り立ちと、高麗寺41世住職慧歎の改革に関する講演を行なった。



展示解説

日 時／平成25年10月27日（日）、11月4日（月・祝） いずれも14時～14時30分頃

会 場／大磯町郷土資料館 企画展示室

（内 容）担当学芸員が企画展示の内容を30分程度で解説した。

（担 当）大石

新春企画展・横溝コレクション「馬！うま！午！」

期 間／平成26年1月5日（日）～1月26日（日）

開場日数／19日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約1,000点

料 金／無料

入場者数／2,103人

（趣 旨）故横溝千鶴子氏からご寄贈いただいた故横溝精彦氏収集の馬に関する資料は、千鶴子氏が生前、広く公開することを望まれていた。このたび2012年より継続していた当該資料の整理に目処が立ち、また折から2014年の干支が午年であることに因み新春の企画として、「新春企画展・横溝コレクション『馬！うま！午！』」と題し、コレクションから抜粋して展示・公開する。

（内 容）精彦氏のコレクションは、すべて馬や蹄鉄の形をしたもの、もしくは馬が描かれたものなどがあり、大別すると郷土玩具、絵画、絵馬、調度品類などに分類される。このコレクションを「郷土玩具コーナー」、「調度品類と絵画コーナー」、「絵馬コーナー」の3つに分けた。この他、横溝邸にある馬のデザインの構造や家具を紹介するコーナーを設け展示解説した。



〔関連行事〕 来館者による「塗り絵絵馬」の作製

企画展会期中、用意した絵馬に彩色し、新年の祈願、抱負を書いていただく「塗り絵絵馬コーナー」を館内に設けた。

（担 当）諏訪部・保坂

春季企画展「きらびやかな雛人形の世界」

期 間／平成 26 年 2 月 22 日(土)～4 月 6 日(日)
 開場日数／36 日間
 会 場／郷土資料館 企画展示室
 出品点数／226 点
 料 金／無料
 入場者数／4,087 人



(趣 旨) 雛人形展は 2 年もしくは 3 年に一度のペースで、これまで計 7 回開催してきた。毎回、好評を得ており、恒例の企画として認知されている。前回の企画展から 2 年が経過し、要望が高まっていることから開催に至った。当館では地域資料として貴重な雛人形を複数所蔵しており、公開することで資料の有効活用を図る。

(内 容) 当館で所蔵している江戸時代末期から昭和 30 年代までの雛人形を時代順に展示することによって、顔立ちや衣装の違いなどを示した。また、雛道具の優品を一括展示することで、人形だけに限らない「雛人形の世界」の奥深さを演出した。

〔関連行事〕

「折り紙雛人形」コーナー

来館者に折り紙で雛人形を作っていただくコーナーを設置した。完成した折り紙雛人形は、廻廊に準備した雛壇に飾り、後に吊るし雛とした。



女雛の人気投票

壁面に館所蔵雛人形の女雛の写真を展示し、顔立ちや衣装などに個性があることを示した。来館者に気に入った女雛を選んでいただき、人気投票を行なった。人気投票の結果を展示に反映させ、来館者が参加する展示とした。

(担 当) 諏訪部・保坂

湘南軽便鉄道 1 世紀記念事業
湘南を走った小さな汽車

開催期間：平成 25 年 12 月 8 日(日)～12 月 23 日(月・祝)

開催場所：郷土資料館 企画展示室

出品点数：約 50 点

料 金：無料

入場者数：1,294 人

展示巡回：なし

■ 湘南軽便鉄道 1 世紀記念事業「湘南を走った小さな汽車」

秦野市・中井町・二宮町・大磯町で構成する広域行政推進協議会による事業。秦野と二宮を結んだ湘南馬車鉄道が、大正 2(1913)年に蒸気機関による湘南軽便鉄道となってから、平成 25 年で 100 年を迎えたことを記念して開催した。

主 催／秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域行政推進協議会
 共 催／秦野市教育委員会・中井町教育委員会・二宮町教育委員会・大磯町教育委員会
 協 力／秦野市観光協会・秦野市観光ボランティアの会

湘南軽便鉄道 1 世紀記念事業展示会「軽便鉄道と東海道メモリアル」

期 間／平成 25 年 12 月 8 日(日)～12 月 23 日(月・祝)
 開場日数／14 日間
 会 場／郷土資料館 企画展示室
 出品点数／約 50 点
 料 金／無料
 入場者数／1,294 人
 展示巡回／



会 場	秦野会場	中井会場	二宮会場
期 間	平成 26 年 1 月 5 日(日) ～1 月 17 日(金)	平成 26 年 1 月 21 日(火) ～2 月 2 日(日)	平成 26 年 2 月 4 日(火) ～2 月 11 日(祝)
開場日数	13 日間	13 日間	7 日間
場 所	秦野市立本町公民館	中井町立井ノ口公民館	二宮町生涯学習センター ラディアン

湘南軽便鉄道1世紀記念事業ウォーク「軽便みちと東海道ウォーク」

コース名	Aコース／軽便本社から東海道散策コース	Bコース／軽便みち再発見コース
期 日	平成25年12月14日(土)	平成26年1月25日(土)
コ ー ス	JR二宮駅→県立大磯城山公園旧吉田茂邸地区→展示会大磯会場→JR大磯駅	小田急秦野駅→展示会中井会場→厳島湿生公園→JR二宮駅
参加人数	9人	46人

湘南軽便鉄道1世紀記念事業講演会「湘南を走った小さな汽車」

期 日／平成26年2月9日(日)
 会 場／二宮町生涯学習センターラディアン
 講 師／渡邊 喜治氏 (『湘南軽便メモワール』の著者)
 参加人数／71人
 (担 当) 國見・大石

■ 学級・講座

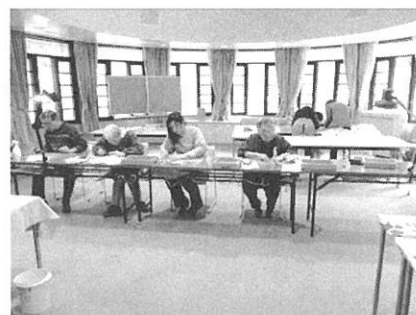
<古文書裏打クラブ>

① 通常講座

期 日／平成25年4月20日(土)、6月15日(土)、7月20日(土)、8月17日(土)、9月7日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)、平成26年1月18日(土)、3月15日(土)

※2月15日(土)は降雪のため中止にした。

場 所／郷土資料館 研修室
 講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふぢ氏、吉原悦子氏
 参加人数／延114人



(内 容)裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行なうワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。会員を随時募集し、今年度は1名の新規入会があった。なお、9月、11月については、通常講座として作業を進める一方で、博物館実習生を対象とした体験講座、一般を対象とした公開講座として開催した。

② 博物館実習体験講座

期 日／平成25年9月7日(土)
 場 所／郷土資料館 研修室
 講 師／古文書裏打クラブ会員
 体験者数／2人

(内 容)博物館学芸員資格を取得するために当館において実習中の博物館実習生を対象に、実習カリキュラムの一環として開催した。古文書裏打クラブの会員による指導で、のり作りから裏打ちまでの全工程の体験実習を行なった。

③ おおいそ文化祭・古文書裏打ち体験

期 日／平成25年11月16日(土)
 場 所／郷土資料館 研修室
 講 師／古文書裏打クラブ会員
 体験者数／1人(見学者7人)

(内 容)おおいそ文化祭の参加行事の一つとして、一般の方を対象に古文書裏打ち体験会を開催した。希望者には実際に裏打ち作業を体験していただいた。

(担 当) 大石・保坂

<古文書解読クラブ>

期 日／平成25年4月6日(土)、5月4日(土)、6月8日(土)、7月13日(土)、8月3日(土)、9月21日(土)、11月2日(土)、12月7日(土)、平成26年1月11日(土)、3月8日(土)
 ※2月8日(土)は降雪のため中止にした。

場 所／郷土資料館 研修室
 参加人数／延112人

(内 容) 郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文書資料の活用を図ることを目的として、平成24年度から毎月第一土曜日を原則として活動を始めた。解読の対象資料は、かつて、古文書裏打クラブで修復した伊東家(山口修氏)旧蔵資料であり、今年度も引き続きこの資料群の解読を行なった。解読作業は、会員の習熟度別に筆写班と学習班に分かれて行ない、筆写班が解読した資料をテキストとして、学習班で解読を行なうかたちをとるようになった。平成25年12月8日(日)には、伊東家旧蔵資料の対象地域にあたる藤沢市用田において、伊東家縁の史跡を訪ねる見学会を行なった。

(担 当) 大石・保坂



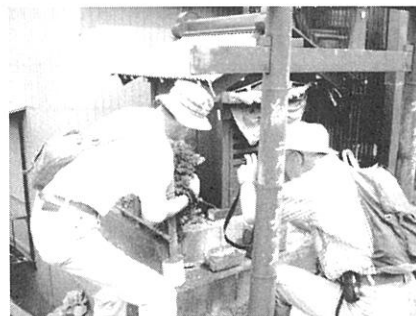
<石仏クラブ>

期 日/平成25年6月1日(土)、7月6日(土)、9月7日(土)、12月7日(土)、平成26年3月12日(水)
 ※4月6日(土)、5月4日(土)、10月5日(土)
 は雨天のため中止とした。

場 所/大磯地区(北下町、南下町、南本町、茶屋町)、東小磯地区
 参加人数/延23人

(内 容) 当町では、過去に石造物の悉皆調査を実施し、その成果を大磯町文化財調査報告書「石造物調査報告書」としてまとめている。調査実施後、既に盗難、破損、移動、新設された石造物も少なくないことから、報告書をもとに所在調査を兼ねて町内の石造物を訪ね、学び、楽しむ機会とし、そして、このことが地域の文化的資産として石仏(石造物)について一層の関心を高め、保護保全への動機付けにつながることを期待して平成23年度に開始した。平成25年度は主に大磯地区の調査を行なった。平成26年3月12日(水)には、集計表のまとめを行なった。

(担 当) 保坂・佐川



<大磯自然観察会>

期 日/平成25年4月27日(土)、5月25日(土)、6月22日(土)、7月13日(土)、8月24日(土)、9月28日(土)、11月9日(土)、12月14日(土)、平成26年1月25日(土)、2月22日(土)、3月8日(土)
 ※5月11日(土)、10月26日(土)、2月8日(土)は
 降雨、降雪のため中止とした。

場 所/大磯運動公園、大磯町西小磯、国府本郷地区
 郷土資料館 研修室

参加人数/延119人

(内 容) 本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成11年度に活動を開始した。これまでに第1次調査 秋の植物分布調査〔平成11年度・12年度〕、第2次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成13~17年度〕、第3次調査 星槎湘南大磯キャンパス(万台こゆるぎの森)の植物調査〔平成18~20年度〕を実施してきた。現在は第4次調査として、大磯運動公園の植物調査を行なっている。本年度は14回の活動を予定していたが、降雨、降雪のため3回が中止となり、11回の活動となった。内容としては大磯運動公園の花暦調査を10回、町中の大木調査を1回実施した。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容	月 日	内 容
4月27日	大磯運動公園の花暦調査	8月24日	大磯運動公園の花暦調査	1月25日	大磯運動公園の花暦調査
5月11日	— 雨天のため中止 —	9月28日	大磯運動公園の花暦調査	2月8日	— 降雪のため中止 —
5月25日	大磯運動公園の花暦調査	10月26日	— 雨天のため中止 —	2月22日	町中の大木調査
6月22日	大磯運動公園の花暦調査	11月9日	大磯運動公園の花暦調査	3月8日	大磯運動公園の花暦調査
7月13日	大磯運動公園の花暦調査	12月14日	大磯運動公園の花暦調査		

(担 当) 北水



<海の森クラブ>

期 日／平成 25 年 4 月 11 日(木)、5 月 12 日(日)、6 月 25 日(火)、7 月 27 日(土)・30 日(火)・31 日(水)、10 月 17 日(木)、12 月 5 日(木)、平成 26 年 1 月 23 日(木)、2 月 21 日(金)、3 月 18 日(火)

場 所／町内海岸、郷土資料館 研修室

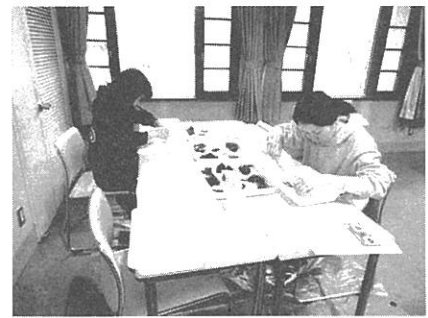
参加人数／延 26 人

(内 容) 本年度 4 年目となるワークショップ。大磯町の海藻の目録化を目的として活動を進めている。本年度は季節ごとの海藻の生育状況を確認するため、北浜海岸、照ヶ崎海岸と大磯港で定点観察を実施した。また、5 月には海の教室『磯の生き物観察会』で海藻についての講話を行ない、7 月には海の教室『楽しい海藻おしばづくり』でおしばづくりの指導にあたった。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
4 月 11 日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察	10 月 17 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
5 月 12 日	海の教室『磯の生き物観察会』 海藻についての講話	12 月 5 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
6 月 25 日	照ヶ崎海岸と大磯港の海藻観察	1 月 23 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
7 月 27 日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』 おしばづくりの指導	2 月 21 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
7 月 30 日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』 おしばづくりの指導	3 月 18 日	北浜海岸、照ヶ崎海岸、大磯港の海藻観察
7 月 31 日	海の教室『楽しい海藻おしばづくり』 おしばづくりの指導		

(担 当) 高山・北水



<海の教室>

① 磯の生き物観察会

期 日／平成 25 年 5 月 12 日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／福田良昭氏 (相模貝類研究談話会会長)

参加人数／34 人

② アオバト観察会

期 日／平成 25 年 6 月 30 日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／斎藤常實氏 (こまたん)・金子典芳氏 (こまたん)

※こまたん／湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体

参加人数／21 人

③ 楽しい海藻おしばづくり

期 日／平成 25 年 7 月 27 日(土)・30 日(火)・31 日(水)

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／ワークショップ“海の森クラブ”メンバー

参加人数／70 人

(内 容) 特定の学問分野に拘らず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成 12 年度から実施している。平成 25 年度は生き物観察を中心に 3 種類の講座を実施した。楽しい海藻おしばづくりについては 7 月 27 日、30 日、31 日の午前、午後 1 回ずつの計 6 回実施し、前年度よりも参加人数が大幅に増えた。

(担 当) 北水・高山



■ 学校教育との連携

<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)	
幼稚園 保育園	5月17日	国府幼稚園遠足	5月24日	大磯幼稚園遠足 「親子で磯遊びをして海の生物に親しむ」
	5月31日	こいそ幼稚園遠足	11月22日	ときわぎ保育園(藤沢市)遠足 「大磯層の化石採集」
	10月11日	たかとり幼稚園、国府保育園 合同遠足		
	10月18日	梅の木幼稚園(二宮町)遠足		
	11月22日	苗・花もんもん保育園(平塚市) 遠足		
	1月24日	まきば幼稚園遠足		
	2月18日	れんげ幼稚園(小田原市)遠足		
	2月28日	たかとり幼稚園遠足		
	3月4日	国府幼稚園遠足		
	3月6日	国府保育園遠足		
小学校	5月16日	大磯小学校3年生遠足	5月31日	国府小学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
	5月21日	国府小学校1年生遠足	2月4日	大磯小学校3年生社会科学習 「町の人たちがうけつぐ行事」
	6月7日	大磯小学校3年生総合学習 「もっと知りたい大磯町」		
	10月4日	二宮小学校3年生校外学習		
	10月31日	国府小学校4年生遠足 「昔から今へと続くまちづくり」		
	12月3日	国府小学校生沢分校歴史授業		
	2月21日	国府小学校3年生社会科学習 「さぐってみよう昔のくらし」		
	2月27日	聖ステパノ学園小学校3、4年生 社会科学習		
中学校	5月29日	国府中学校1年生課外活動	5月31日	国府中学校生沢分校総合学習 「漂着物を使った美術品製作」
	2月14日	国府中学校1年生職場体験	12月11日	大磯中学校1年生総合学習 「左義長」

<教員を対象とした講義>

- ・大磯町立学校新採用職員研修(5月)
 - ・総合学習に生かせる大磯の自然散策(8月)
- (担当) 國見・北水・大石・保坂

■ 他の博物館・生涯学習施設との連携

<自然史系博物館標本データ整備事業への参加>

自然史標本データベース神奈川委員会の参加館として、貝類2,000件のデータベースを整備し、データ提供を行なった。本データは国立科学博物館 Web サイト内「サイエンスミュージアムネット」で検索、閲覧が可能である。

(担 当) 北水

<湘南軽便鉄道1世紀記念事業専門部会への参加>

秦野市、中井町、二宮町、大磯町広域行政推進協議会において湘南軽便鉄道1世紀記念事業専門部会が承認され、当館職員が同専門部会員に選出された。専門部会が企画の立案から実施運営までを行ない記念事業として、巡回展「軽便鉄道と東海道メモリアル」、講演会「湘南を走った小さな汽車」、
「湘南軽便鉄道ウォーク」を実施した。

(担 当) 國見・大石

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの充実>

郷土資料館の Web サイト内[大磯町郷土資料館ノート]に館活動情報等を掲載し、発信した。

(月別アクセス数)

単位：件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	3,090	2,045	1,757	4,223	4,655	3,763	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3,800	3,159	4,104	3,797	3,405	2,992	40,790

(担 当) 曾根田・保坂・高山

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・資料館資料14『大磯町の海産貝類』 A4判36頁 500部 (平成25年7月刊)
- ・学習参考資料展図録『みんなで調べた 大磯町の花 2011・夏 調査結果』 A4判12頁 500部 (平成26年2月刊)
- ・学習参考資料展図録『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋 調査結果』 A4判12頁 500部 (平成26年2月刊)
- ・学習参考資料展図録『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬 調査結果』 A4判12頁 500部 (平成26年2月刊)
- ・『Report-大磯町郷土資料館だより』34 A4判 8頁 800部 (平成26年2月刊)
- ・『年報-平成24年度-』 A4判46頁 500部 (平成26年3月刊)

<チラシ・パンフレット>

- ・ミニ企画展『新収蔵資料展』チラシ A4判片面 1,000部 (平成25年5月刊)
- ・企画展『大磯町の多彩な貝の世界』チラシ A4判両面 3,000部 (平成25年7月刊)
- ・『大磯の名所-絵はがきと写真から見る昔と今の姿-』 A4判4頁 2,000部 (平成25年9月刊)
- ・秋季企画展『一村寺領 高麗寺村』チラシ A4判両面 3,000部 (平成25年9月刊)
- ・秋季企画展『一村寺領 高麗寺村』解説資料 A4判4頁 500部 (平成25年10月刊)
- ・秋季企画展『一村寺領 高麗寺村』解説文 A4判8頁 500部 (平成25年10月刊)
- ・新春企画展・横溝コレクション『馬!うま!午!』チラシ A4判両面 2,000部 (平成25年12月刊)
- ・春季企画展『きらびやかな雛人形の世界』チラシ A4判両面 3,000部 (平成26年2月刊)
- ・常設展「器の名称」解説資料 B5判片面 2,000部 (平成26年3月刊)

<その他>

- ・講座通信『木荔枝-大磯自然観察会通信-』 A4判2頁 北°-対応 (平成25年4,7,10月、平成26年1月刊)
- ・講座通信『海の森通信』 A4判2~4頁 北°-対応 (平成25年4,8,10,12月、平成26年3月刊)

■ 調査・研究・普及

<館内外の活動>

- ・博物館資料調査／年間／大磯町内外（國見・北水・大石・曾根田・諏訪部・高山・保坂）
- ・神奈川県博物館協会役員会出席／年間／神奈川県立歴史博物館（國見）
- ・駒澤大学博物館学講座講義／年間／駒澤大学（國見）
- ・新採用職員研修講義／4月18日／大磯町役場本庁舎（國見）
- ・科学研究費補助金「近代地方公文書アーカイブズの構造と情報に関する学際的総合研究」の研究打ち合わせ・資料調査会出席／4月21日、6月9日、7月14日、8月11日、9月8日、10月13日、2月23日・24日・25日／立川市歴史民俗資料館、西予市役所城川支所城川文書館、愛媛県歴史文化博物館（大石）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会運営委員会出席／5月15日、9月3日、2月7日／埼玉県立文書館、ふるさと府中歴史館（大石）
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義／5月14日／郷土資料館（北水）
- ・大磯町立大磯幼稚園「親子で磯遊びをして海の生物に親しむ」指導／5月24日／照ヶ崎海岸（北水）
- ・大磯町立国府小・中学校生沢分校総合学習「漂着物を使った美術品製作」指導／5月31日／神奈川県立おおいそ学園（北水）
- ・日本考古学協会第79回総会出席／5月25日／駒澤大学（國見）
- ・大磯町立国府中学校1年生徒歩訓練「郷土の良さを再発見」指導／5月29日／郷土資料館（北水）
- ・湘南軽便鉄道1世紀記念事業専門部会担当者会議出席／5月30日、6月27日、7月9日、10月3日・17日・25日、11月1日・8日・13日・19日／二宮町生涯学習センター ラディアン他（國見・大石）
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習「もっと知りたい大磯町」指導／6月7日／郷土資料館（保坂）
- ・茅ヶ崎市文化資料館市外自然観察会「初夏の大磯町の海と森を訪ねる」指導／6月8日／郷土資料館、県立大磯城山公園、小磯の海岸（北水）
- ・文明開化期の相武地域史研究会定例研究会出席／6月12日、8月21日／横浜開港資料館（大石）
- ・社会福祉法人・児童養護施設「エリザベス・サンダース・ホーム」収蔵資料調査／6月24日／エリザベス・サンダース・ホーム（大石）
- ・澤田美喜記念館運営委員会出席／6月19日、7月23日、9月10日、10月24日、1月7日、2月4日、3月4日／エリザベス・サンダース・ホーム（國見・大石）
- ・北海道大学農学研究院土木保全学研究室「本州から北海道への移住事例調査」に関する打ち合わせ／7月9日、9月30日、3月10日／砂防会館、北海道大学農学研究院国土保全学研究室（大石）
- ・小田原市郷土文化館ミュージアム探訪講義／7月12日／郷土資料館（國見）
- ・平塚市環境政策課主催夏休みこども環境教室〔海編〕指導／7月25日／平塚新港周辺（北水）
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然散策」指導／8月8日／高麗山（北水）
- ・星槎大学エクステンションセンター公開講座教養コースシリーズ2「大磯学」指導／9月29日／星槎湘南大磯キャンパス（北水）
- ・文明開化期の相武地域史研究会シンポジウム「維新の動乱と神奈川一道と海の視点から」講演／10月19日／東海大学松前記念館講堂（大石）
- ・藤沢市文書館古文書講座「近世交通関係文書を読む」講義／10月30日、11月6日／藤沢市労働会館（大石）
- ・大磯町立国府小学校4年生社会科学習「昔から今へと続くまちづくり」指導／10月31日／郷土資料館（大石・保坂）
- ・山北町史資料取扱指導員／11月～（國見）
- ・ときわぎ保育園秋の遠足「大磯層の化石採集」指導／11月22日／西小磯の海岸（北水）
- ・相模民俗学会研究例会「取っておかれた御札一千枚札からなにがわかるか、千枚札とはなにか」発表／11月24日／神奈川県立歴史博物館（保坂）
- ・湘南邸宅文化ネットワーク協議会シンポジウム（大磯大会）基調講演「大磯別荘史」発表／12月1日／神奈川県立大磯城山公園旧吉田邸地区内（曾根田）
- ・大磯町観光協会主催邸園文化事業・大磯2013秋事業「初代総理大臣伊藤博文公ゆかり大磯巡り」講義／11月12・21日／県立大磯城山公園旧吉田邸管理休憩棟（國見）
- ・日本考古学協会入会資格審査委員会出席／12月7日／日本考古学協会事務所（國見）

- ・大磯町立大磯中学校 1 年生総合学習「左義長」指導／12 月 11 日／大磯町大磯中学校（保坂）
- ・神奈川県植物誌調査会勉強会、湘南ブロック会議、植物調査／12 月 15 日、1 月 23 日、3 月 27 日／神奈川県立生命の星・地球博物館、平塚市博物館、小田原市西部（北水）
- ・全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会定例研究会出席／12 月 20 日／小田原市郷土文化館（大石）
- ・大磯町立大磯小学校 3 年生社会科「町の人たちがうけつぐ行事」指導／2 月 4 日／大磯町立大磯小学校（保坂）
- ・大磯町立国府中学校 1 年生職場体験指導／2 月 14 日／郷土資料館（北水）
- ・国府小学校 3 年生社会科「さぐってみよう昔の暮らし」指導／2 月 21 日／郷土資料館（保坂・大石・北水・高山）
- ・首都圏形成史研究会研究例会／シンポジウム「歴史災害を伝える－“災害史”研究の現状と課題－」準備会報告／2 月 28 日（大石）
- ・山北町教育委員会主催山北町歴史講座「東海道線山北駅の器」講義／3 月 8 日／山北町立中央公民館（國見）
- ・一宮市尾西歴史民俗資料館主催講座「歴史と民俗～東海道本陣物語～」／3 月 30 日／一宮市尾西歴史民俗資料館（大石）

<施設・展示解説>

- ・神奈川地域史研究会、神奈川歴史資料保全ネットワーク／4 月 20 日／10 人（大石）
- ・相模原市立博物館民俗調査会／5 月 25 日／30 人（大石）
- ・神奈川大学／6 月 16 日／13 人（北水）
- ・個人（大磯町）／7 月 25 日／1 人（北水）
- ・神奈川県湘南地域県政総合センター／8 月 27 日／9 人（曾根田）
- ・国府中学校科学部／8 月 28 日／10 人（北水）
- ・二宮小学校 3 年生／10 月 4 日／114 人（曾根田・保坂）
- ・藤沢市生涯学習部／11 月 15 日／2 人（國見・曾根田）
- ・鎌倉市腰越地区スポーツ振興会／12 月 8 日／50 人（曾根田）

<執筆>

國見 徹

2013. 12. 湘南軽便鉄道 1 世紀記念事業「IX 東海道線と大磯」『湘南を走った小さな汽車』秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域行政推進協議会

北水 慶一

2013. 7. 『資料館資料 14 大磯町の花と実 2011・夏 調査結果』大磯町郷土資料館
 2014. 2. 『みんなで調べた 大磯町の花 2011・夏 調査結果』大磯町郷土資料館
 2014. 2. 『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋 調査結果』大磯町郷土資料館
 2014. 2. 『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬 調査結果』大磯町郷土資料館
 2014. 3. 「講座『みんなで町の自然を調べよう～秋の七草の分布しらべ～』及び学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』の実施報告」『年報－平成 24 年度－』大磯町郷土資料館

大石三紗子

2013. 4. 「陸上交通に従事する人びと」、「水上交通に従事する人びと」 深谷克己・須田努編『近世人の事典』東京堂出版
 2013. 5. 「日本 近世 10 商品流通・交通」『史学雑誌』第 122 編第 5 号 回顧と展望 史学会
 2013. 9. 「大磯町域の地域資料所在調査とその現状」『アーキビスト』80 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会
 2013. 11. 大磯町文化財調査報告書第 49 集『大磯宿小島本陣資料目録』大磯町教育委員会
 2013. 12. 湘南軽便鉄道 1 世紀記念事業「X 東海道を訪ねて～大磯町編～」『湘南を走った小さな汽車』秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域行政推進協議会

2014. 2. 「平成 24 年度春季企画展関連企画講演会「大磯の地震被害と地盤を知る」講演抄録」
『Report－大磯町郷土資料館だより』34 大磯町郷土資料館
2014. 3. 「砂川村役場文書の全体像－組織分析からの考察－」平成 23 年度～平成 25 年度 科学研究費補助金 基礎研究(B) 研究成果報告書『近代地方公文書アーカイブズの構造と情報に関する学際的総合研究』

保坂 匠

2013. 4. 「大磯町西小磯西地区の七夕行事現状報告」『民俗』第 223 号 相模民俗学会
2014. 3. 「2013 年大磯町西小磯西の七夕行事報告」『民俗』第 226 号 相模民俗学会
2014. 3. 「大磯町国府本郷地区山口家の御札資料からみる信仰範囲」『年報－平成 24 年度－』
大磯町郷土資料館

■ 博物館実習

平成 25 年度は 2 大学より 2 名の学生を受け入れた。実習期間は 9 月 3 日から 9 月 14 日の間（9 月 8 日・9 日を除く）及び 7 月 26 日（事前ガイダンス）、9 月 20 日（課題等提出）の計 12 日間とした。

博物館実習は例年、1 週目と 2 週目とでは作業内容を変えて実施している。実習 1 週目は歴史、民俗、自然各分野の作業や梱包、軸物等資料の取り扱いなど実務的な作業を行ない、2 週目は常設展示室の展示替実習を行なった。展示替実習は実習生が主体となって、企画立案から展示に至るまでの作業を進めるもので、本年度は「大磯の名所－絵はがきと写真から見る昔と今の姿－」のタイトルで進めた。大磯町は明治 18 年の海水浴場の開設、明治 20 年の東海道線大磯停車場の開業をきっかけに別荘地として栄え、全国的に有名になった。避暑地、観光地として知られた大磯には 8 つの優れた景観を選んだ大磯八景があり、八景の概要を紹介するとともに、絵はがきと写真をもとに町並みの移り変わりを紹介した。

<実習生>

柳澤 千夏（駒澤大学）、久米 琴美（神奈川大学）

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7 月 26 日	金		ガイダンス／館内見学
9 月 3 日	火	講義（資料館の活動概要）	町内施設・史蹟見学／企画展の片付け
9 月 4 日	水	企画展の片付け	自然史標本（貝類標本）の整理／展示替実習打ち合わせ
9 月 5 日	木	古文書裏打クラブの準備作業	古文書裏打クラブの準備作業／展示替実習打ち合わせ
9 月 6 日	金	資料梱包	資料梱包／特殊資料の取り扱い／展示替実習打ち合わせ
9 月 7 日	土	古文書裏打クラブに参加	古文書裏打クラブに参加／展示替実習打ち合わせ
9 月 10 日	火	展示替実習（テーマの選出・資料調査・資料選択）	
9 月 11 日	水	展示替実習（資料選択・写真撮影）	
9 月 12 日	木	展示替実習（写真撮影・原稿作成）	
9 月 13 日	金	展示替実習（原稿作成・パネル作製・キャプション作製）	
9 月 14 日	土	展示替実習（原稿作成・パネル作製・リーフレット編集）	
9 月 20 日	金	展示替実習（原稿作成・パネル作製・リーフレット編集・列品・片付け・展示批評）	

（担当）北水・國見・大石・曾根田・保坂

■ 博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2013-0401	H25. 4. 10	林董関係資料	34	潮田洋一 平塚市桃浜町	1101	H25. 11. 4	半鐘・ 吊金具	2	生沢区長
0402	H25. 4. 11	短冊「退入 庵記念」	1	酒井英美子 横浜市戸塚区	1102	H25. 11. 7	貝類標本・ 標本ケース	一括	南那津子 大磯町大磯
0801	H25. 8. 2	町村合併 記録	1	後藤弘幸 大磯町生沢	1103	H25. 11. 24	書額	3	蜂谷竹雄 東京都世田谷区
0802	H25. 8. 28	カニアミ 他	1	内山利彦 二宮町二宮	1201	H25. 12. 3	唐箕	1	小泉隆史 大磯町高麗
0902	H25. 9. 18	アミコケム シ科の一種	1	伊藤貞夫 平塚市万田	1205	H25. 12. 15	湘南軌道 切符	20	森德行 二宮町二宮
1001	H25. 10. 8	アオダイシ ョウ (幼体)	1	木村純子 大磯町大磯	2014- 0101	H26. 1. 16	セエトバレ エのタイコ	1	西山敏夫 二宮町山西
1002	H25. 10. 8	船大工道具	一式	小見志郎 鎌倉市津	0202	H26. 2. 27	雛人形 (火鉢)	1	寺本和代 大磯町大磯
1003	H25. 10. 10	ステテコ	1	西山敏夫 二宮町山西	0301	H26. 3. 5	写真アルバム	1	宮代伊佐雄 大磯町西小磯

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H24. 4. 1 ~ H26. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2012-0401	H24. 4. 1	菊池重三郎 関係資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0412	H24. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長
0402	H24. 4. 1	書籍	2	山川正 大磯町国府新宿	0413	H24. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区長
0403	H24. 4. 1	獅子頭	2	裡道区長	0414	H24. 4. 1	伊藤博文 書幅	1	大木伸男 秦野市堀山下
0404	H24. 4. 1	古文書	一括	後藤勲 大磯町月京	0415	H24. 4. 1	扁額、壺	2	国府中学校
0405	H24. 4. 1	子供会旗・ 七夕資料 他	一括	西小磯西子ども 会長	0416	H24. 4. 1	永山光幹 関連資料	一式	永山サト子 大磯町西小磯
0406	H24. 4. 1	木造仁王像	2	慶覚院	0417	H24. 4. 1	随神 他	一括	南本町区長
0407	H24. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0418	H24. 4. 1	クロッカスカ ーテン 看板	1	添田光雄 大磯町国府本郷
0408	H24. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0419	H24. 4. 1	雛人形	一式	菱沼薫 横浜市緑区
0409	H24. 4. 1	画幅	1	角田豪 茅ヶ崎市萩園	0423	H24. 4. 1	高札	3	坂井孝明 大磯町黒岩
0410	H24. 4. 1	四季耕作図 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0424	H24. 4. 1	屏風 (六曲半双)	1	大久保忠旦 千葉市花見川区
0411	H24. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社					

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2013-0501	H25. 5. 2	慶覚院本堂 落慶記念色紙	3	大磯町教育委員会 生涯学習課	0901	H25. 9. 14	戸籍用公印	3	大磯町 国府支所
0701	H25. 7. 9	公印	9	大磯町 国府支所	2014- 0102	H26. 1. 30	大磯町航空 写真	3	大磯町税務課、 都市計画課

<採集資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2013-0403	H25. 4. 18	県立湘南青少年 の家関係資料	6	—	0502	H25. 5. 30	磁器・土器	10	—

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2013-1202	H25. 12. 14	地形図2万分の1小田原近傍	14	秦川堂書店	1204	H25. 12. 14	地形図2万5千分の1小田原近傍	13	書肆秦川堂
1203	H25. 12. 14	地形図2万分の1小田原近傍	6	書肆秦川堂	2014-0302	H26. 3. 7	地形図	3	日本地図センター

<資料整備資料>

動物剥製製作委託

標本名	数量	完成年月日	委託先
アオバト	2体	H26. 2. 26	(有)尼ヶ崎科学標本社
ウミスズメ	2体		
アカハラ	1体		
ミソサザイ	1体		

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
小島本陣資料	2	展示	H25. 4. 16 ~ 6. 28	神奈川県立歴史博物館	坂田山南横穴墓群出土遺物	2	資料保存処理	H25. 10. 9 ~ H26. 3. 14	東都文化財保存研究所
民俗資料	4	講義	H25. 5. 25 ~ 5. 26	個人	民俗資料	5	講義	H25. 11. 9 ~ 11. 10	個人
無形民俗文化財映像	3	テレビ放映	H25. 6. 16 ~ 6. 28	備ザ・ワークス	地質調査報告書・土質標本	4	授業	H25. 11. 12 ~ 11. 29	大磯小学校
随神、屏風、掛軸	5	祭事	H25. 7. 11 ~ 7. 17	南本町地区	伊藤公関連資料	一式	祭事	H26. 3. 1 ~ 3. 2	西小磯地区
獅子頭	2	祭事	H25. 7. 12 ~ 7. 17	裡道地区					

<資料の特別利用 (No. 1) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 6	古文書解説クラブ参加者	伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 5. 4	古文書解説クラブ参加者
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 6	古文書解説クラブ参加者	伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 5. 4	古文書解説クラブ参加者
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 6	古文書解説クラブ参加者	伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 5. 4	古文書解説クラブ参加者
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 6	古文書解説クラブ参加者	伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 5. 4	古文書解説クラブ参加者
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 6	古文書解説クラブ参加者	企画展示風景	4	撮影 / 個人的趣味	H25. 5. 4	個人
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 6	古文書解説クラブ参加者	常設展示資料	15	撮影 / 研究発表	H25. 5. 5	個人
海水浴場関連資料	3	データ利用 / テレビ放送	H25. 4. 11	テレビ神奈川制作部	イタゴ	1	撮影 / 刊行物掲載	H25. 5. 7	個人
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 / 研究発表	H25. 4. 15	古文書解説クラブ参加者	常設展示風景	1	撮影 / 個人的趣味	H25. 5. 24	個人
海水浴絵はがき	5	データ利用 / 刊行物掲載	H25. 4. 15	個人	常設展示資料	1	撮影 / 個人的趣味	H25. 5. 25	個人
海水浴場関連資料	4	データ利用 / 刊行物掲載	H25. 4. 16	鹿島出版会	常設展示資料	1	撮影 / 個人的趣味	H25. 5. 28	個人
松本順肖像写真	1	データ利用 / 刊行物掲載	H25. 4. 19	鹿島出版会	海水浴場関連資料	3	データ利用 / テレビ放送	H25. 5. 28	テレビ朝日制作1部
鳴立澤標石	1	撮影 / 個人的趣味	H25. 4. 23	個人	絵はがき	14	データ利用 / 展示	H25. 5. 31	個人

<資料の特別利用 (No. 2) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
常設展示資料	2	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 5. 31	個人	企画展示風景	1	撮影 ／研究発表	H25. 8. 16	個人
土屋家旧蔵資料	一括	閲覧 ／調査研究	H25. 6. 4	個人	絵はがき	3	複写 ／展示	H25. 8. 19	寒川文書館
中川家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H25. 6. 5	個人	吉田茂似顔絵イラスト	1	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 8. 20	県立大磯城山公園
海水浴写真	2	撮影 ／調査研究	H25. 6. 6	個人	関東大震災関連資料	4	撮影 ／新聞取材	H25. 8. 28	個人
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H25. 6. 8	古文書解読クラブ参加者	企画展示風景	10	撮影 ／参考資料	H25. 8. 30	個人
伊東家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H25. 6. 8	古文書解読クラブ参加者	錦絵、島崎藤村写真	3	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 8. 30	創森社
企画展示風景	10	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 6. 19	個人	ワークショップ活動写真	2	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 8. 30	平塚市博物館
常設展示資料	1	撮影 ／個人的趣味	H25. 6. 20	個人	外観、館内展示、実習風景	—	撮影 ／研究発表	H25. 9. 4	博物館実習生
松本順肖像写真、絵はがき	8	データ利用 ／テレビ放送	H25. 6. 25	オールアウト制作部	外観、館内展示、実習風景	—	撮影 ／研究発表	H25. 9. 4	博物館実習生
海水浴絵はがき	4	撮影 ／研究発表	H25. 6. 28	個人	海水浴絵はがき	1	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 9. 5	大修館書店
絵はがき	1	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 7. 1	個人	常設展示風景	10	撮影 ／個人的趣味	H25. 9. 6	個人
古写真、絵はがき	19	データ利用 ／展示	H25. 7. 9	個人	企画展示資料	1	撮影 ／個人的趣味	H25. 9. 10	個人
絵はがき	6	データ利用 ／参考資料	H25. 7. 9	個人	吉田茂関連資料	1	閲覧 ／参考資料	H25. 9. 13	神奈川県平塚土木事務所
常設展示風景	3	撮影 ／個人的趣味	H25. 7. 12	個人	常設展示風景	3	撮影 ／刊行物掲載	H25. 9. 13	小松製作所
常設展示資料	5	撮影 ／個人的趣味	H25. 7. 12	個人	横穴墓出土杏葉	1	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 9. 18	藤沢市郷土歴史課
海水浴絵はがき	1	データ利用 ／ホームページ掲載	H25. 7. 12	神奈川県民局くらし県民部	サーベル	1	撮影 ／研究発表	H25. 9. 19	個人
海水浴場関連資料	7	データ利用 ／テレビ放送	H25. 7. 13	TBSテレビ	常設展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H25. 10. 3	個人
海水浴絵はがき	1	データ利用 ／テレビ放送	H25. 7. 14	日本テレビ	小島本陣関連資料	45	撮影 ／研究発表	H25. 10. 8	個人
常設展示風景	10	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 7. 21	個人	四季耕作図	1	閲覧 ／参考資料	H25. 10. 16	個人
イタゴ	7	撮影 ／研究発表	H25. 7. 24	個人	絵はがき、古写真	13	データ利用 ／研究発表	H25. 10. 17	大磯景観応援団
中川家旧蔵資料	一括	撮影 ／研究発表	H25. 7. 30	個人	企画展示風景	5	撮影 ／参考資料	H25. 10. 19	個人
海水浴場関連資料	2	データ利用 ／テレビ放送	H25. 7. 31	テレビ朝日制作1部	企画展示風景	3	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 10. 20	個人
展示風景	10	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 7. 31	個人	常設展示資料	10	撮影 ／個人的趣味	H25. 10. 23	個人
展示風景	5	撮影 ／研究発表	H25. 8. 1	個人	企画展示風景	—	撮影 ／個人的趣味	H25. 10. 26	個人
企画展示風景	10	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 8. 3	個人	常設展示資料、企画展示風景	—	撮影 ／調査研究	H25. 10. 27	個人
吉田茂似顔絵イラスト	1	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 8. 6	ランズ計画研究所	小島本陣関連資料	1	撮影 ／調査研究	H25. 10. 29	割烹家八百善
イタゴ	8	撮影 ／研究発表	H25. 8. 7	個人	古文書	1	撮影 ／研究発表	H25. 11. 2	個人
海水浴写真	1	データ利用 ／テレビ放送	H25. 8. 15	ダブルアップ	常設展示風景	5	撮影 ／刊行物掲載	H25. 11. 6	個人
絵はがき	3	データ利用 ／テレビ放送	H25. 8. 15	ジャパンプロデュース	展示室風景	—	撮影 ／個人的趣味	H25. 11. 16	個人

<資料の特別利用 (No. 3) >

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
イタゴ	1	撮影 ／ホームページ掲載	H25. 11. 21	個人	錦絵、絵はがき	2	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 2. 17	エー・アンド・アイ 広告制作事務所
錦絵	1	データ利用 ／研究発表	H25. 11. 25	藤沢市文書館	伊藤博文肖像 写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 2. 19	エー・アンド・アイ 広告制作事務所
安本亀八作 生人形	1	複写 ／刊行物掲載	H25. 11. 27	平凡社別冊 太陽編集部	加藤家旧蔵 資料	一括	撮影 ／研究発表	H26. 2. 20	春日部市 教育委員会
吉田茂肖像写真	1	撮影 ／調査研究	H25. 12. 8	個人	常設展示資料	3	撮影 ／発表	H26. 2. 23	個人
企画展 キャプション	—	撮影 ／調査研究	H25. 12. 10	個人	左義長写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 2. 26	神奈川県 政 策局 政策部
左義長写真	3	データ利用 ／刊行物掲載	H25. 12. 19	湘南経済新聞 編集部	企画展示風景	—	撮影 ／ホームページ掲載	H26. 3. 2	個人
企画展示風景	5	撮影 ／刊行物掲載	H26. 1. 7	湘南 ジャーナル社	展示室風景	5	撮影 ／個人的趣味	H26. 3. 6	個人
伊藤梅子写真	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 1. 16	ケイ・ティ・ パワーズ	常設展示風景	5	撮影 ／参考資料	H26. 3. 19	個人
常設展示資料	1	撮影 ／研究資料	H26. 1. 23	個人	錦絵	1	データ利用 ／刊行物掲載	H26. 3. 26	エー・アンド・アイ 広告制作事務所
常設展示風景	10	撮影 ／個人的趣味	H26. 2. 11	個人	展示室風景	—	撮影 ／個人的趣味	H26. 3. 28	個人
絵はがき	25	撮影 ／研究発表	H26. 2. 12	個人					

<備品等の貸出>

備品名	点数	利用目的	期間	申請者	資料名	点数	利用目的	期間	申請者
公用車	1	消防救助技術 指導会職員送迎	H25. 6. 19 ～ 6. 21	大磯町消防署	テーブル 椅子	2 10	スポーツ行事	H25. 10. 22	大磯町 スポーツ健康課
プロジェクター	1	講座	H25. 7. 1 ～ 7. 9	大磯町教育委員会 生涯学習課	プロジェクター スクリーン	各 1	講座	H25. 10. 23	神奈川県 公園協会
スクリーン パソコン	各 1	講座	H25. 7. 9 ～ 7. 10	大磯町教育委員会 生涯学習課	公用車	1	横溝記念まつり 物品搬送	H25. 10. 26 ～ 10. 29	大磯町 福祉課
公用車	1	参議院議員 選挙物品搬送	H25. 7. 17 ～ 7. 23	大磯町 選挙管理委員会	スクリーン パソコン	各 1	講演会	H25. 10. 30	大磯町教育委員会 生涯学習課
公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H25. 7. 18	大磯町 スポーツ健康課	公用車	1	小中学校音楽 会の物品搬送	H25. 11. 2	大磯町教育委員会 学校教育課
プロジェクター スクリーン	各 1	講演会	H25. 7. 23	大磯町 茶道協会	公用車	1	子ども作品展 の物品搬送	H25. 11. 8	大磯町教育委員会 学校教育課
公用車	1	なぎさの祭典 物品搬送	H25. 7. 25 ～ 7. 30	大磯町 産業観光課	公用車	1	子ども作品展 の物品搬送	H25. 11. 11	大磯町教育委員会 学校教育課
公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H25. 7. 26	大磯町 スポーツ健康課	公用車	1	廃棄図書搬送	H25. 11. 14	大磯町立 図書館
プロジェクター スクリーン	各 1	講座	H25. 7. 28	磯っこ海の教 室実行委員会	折りたたみ椅子	40	演奏会	H25. 11. 22 ～ 12. 4	神奈川県立 大磯城山公園
プロジェクター パソコン	各 1	講座	H25. 8. 11	大磯町教育委員会 生涯学習課	公用車	1	出初式物品 搬送	H25. 1. 10 ～ 1. 15	大磯町 消防署
マイク	1	講演会	H25. 8. 24	大磯の戦争を 語り継ぐ会	スクリーン	1	講座	H26. 1. 12	大磯町教育委員会 生涯学習課
公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H25. 8. 30 ～ 9. 1	大磯町 スポーツ健康課	公用車	1	職員送迎	H26. 1. 16	大磯町教育委員会 子育て支援課
公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H25. 9. 27 ～ 10. 1	大磯町 スポーツ健康課	公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H26. 1. 16 ～ 1. 20	大磯町 スポーツ健康課
公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H25. 10. 3 ～ 10. 7	大磯町 スポーツ健康課	公用車	1	スポーツ行事 の物品搬送	H26. 1. 26	大磯町 スポーツ健康課
着物用ハンガー	4	文化祭の展示	H25. 10. 18 ～ 10. 22	大磯町教育委員会 生涯学習課	スクリーン マイク	各 1	講演	H26. 2. 5	大磯町 教育研究所

<寄贈受入図書>

出版地	寄贈者	書名	発行日
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市教育委員会	茅ヶ崎市遺跡調査発表会：発表要旨 第24回	2013/12
藤沢市	藤沢市教育委員会	稲荷台地遺跡群引地脇遺跡第2地点発掘調査報告書	2010/3
		遠藤菖蒲沢境遺跡発掘調査報告書	2011/3
		若尾山遺跡第1次調査（朝日町5-7地点）発掘調査報告書	2010/3
		藤沢市社寺建築物調査報告書 2（神社編）	2012/3
		藤沢市文化財調査報告書 第47集	2012/3
	藤沢市生涯学習部 郷土歴史課	高倉枯藪遺跡第3次調査・石川鍛冶山西遺跡第3次調査・藤沢椎名谷遺跡 ・御幣山遺跡第2次調査	2012/3
		大地に刻まれた藤沢の歴史. 4（古墳時代）	2014/3
		藤沢市内埋蔵文化財発掘調査概要集	2012/3
		藤沢市文化財調査報告書 第48集	2013/3
	藤沢市文書館	小笠原東陽と耕餘塾に学んだ人々	2013/3
		藤沢山日鑑 別巻（近侍者記録 3）	2013/3
		藤沢市史研究 第46号	2013/3
		藤沢市文書館紀要 第33号	2013/3
	日本大学 生物資源科学部博物館	博物館報 第22号	2013/6
秦野市	秦野市教育委員会	図説・秦野の歴史	1996/3
		図説・秦野の歴史 別冊：図説・秦野の歴史年表<稿>	1996/3
平塚市	平塚市教育委員会	竹之内/南原B：平成21・22年度市内遺跡緊急調査報告	2013/3
		坪ノ内遺跡 第5地点	2013/3
		東中原G遺跡発掘調査報告書 第3地点	2013/3
	平塚市博物館	自然と文化：平塚市博物館研究報告 36(2013)	2013/3
		水と生きる里：金目の風土とその魅力：2013年度春期特別展	2014/3
		蔵出し!びっくり・はてな資料展：秋期特別展	2013/10
		平塚市博物館所蔵資料目録 5	2002/3
		平塚市博物館年報 35（2011）, 36（2012）	2013/3
	平塚人物史研究会	平塚ゆかりの先人たち	2013/9
寒川町	寒川文書館	寒川文書館年報 第6号（平成24年度）	2013/9
小田原市	小田原市教育委員会	小田原城三の丸元蔵跡第V地点発掘調査報告書	2010/9
	小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化館研究報告 No. 49	2013/3
	小田原市立図書館	セピア色の写真展：伸びる小田原、変わる小田原 2013	2013/2
		小田原文学館没後70年記念特別展：北原白秋—小田原での日々	2012/10
		村井弦斎の小田原時代：小田原文学館特集展示	2012/7
		福田正夫：小田原が生んだ民衆詩人：小田原文学館特集展示	2013/3
	神奈川県立 生命の星・地球博物館	益田一と日本の魚類学：魚類図鑑に生涯を捧げたdandy：2013年度特別展	2013/7
		神奈川県立生命の星・地球博物館年報 第18号（2012年度）	2013/10
		神奈川県立博物館研究報告 自然科学 43	2013/2
		神奈川自然誌資料 35	2014/2
	報徳博物館	報徳博物館館報 No. 17	2013/3
箱根町	箱根町立郷土資料館	バス、天下の険をいく：箱根の自動車100年：平成25年度特別展図録	2013/9
		箱根町立郷土資料館館報	2013/3
山北町	山北町教育委員会	足柄乃文化 第3号, 第9号, 第15号, 第21号, 第29号, 第40号	1960-2013
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館年報 平成24年度	2013/7
	玉川文化財研究所	七ノ域遺跡第7地点	2013/9
		上郷町石原やぐら群 第2次調査	2013/10
		中原D遺跡第4地点	2014/3
	神奈川大学 日本常民文化研究所	神奈川大学日本常民文化研究所 2013	2013/6
	横浜みなと博物館	横浜港と関東大震災：震災からの復興：企画展	2013/9
	神奈川県立図書館	郷土神奈川 第52号	2014/2
	JICA横浜 海外移住資料館	JICA横浜海外移住資料館館報 平成24年度	2013/6
		JICA横浜海外移住資料館研究紀要 7（平成24年度）	2013/3

出版地	寄贈者	書名	発行日
		海外移住資料館の10年：2002-2012：独立行政法人国際協力機構 横浜国際センター海外移住資料館開館十周年記念誌	2013/8
	シルク博物館	シルク博物館人間国宝作品集	2013/3
		シルク博物館平成24年度年報	2013/11
	横浜都市発展記念館	横浜都市発展記念館紀要 第9号	2013/3
		関東大震災と横浜：廃墟から復興まで	2013/7
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館年報 2012年（平成24年）度	2013/7
	神奈川県民部	神奈川県史 通史編 6（近代・現代 3 産業・経済 1）	1981/3
	神奈川県教育委員会	かながわの民俗芸能 第77号	2013/3
		神奈川県埋蔵文化財調査報告 58	2013/3
	神奈川県博物館協会	神奈川県博物館協会加盟館園職員名簿 2013	2013/9
		神奈川県博物館協会会報 第84号	2013/3
	神奈川県立歴史博物館	「キングの塔」誕生！：神奈川県庁本庁舎とかながわの近代化遺産	2013/7
		江戸時代かながわの旅：「道中記」の世界：特別展	2013/4
		神奈川県立歴史博物館年報 平成23年度	2013/3
	馬の博物館	鎌倉時代の馬と道：畠山重忠と三浦一族：特別展	2013/4
		馬のアート：cartoons×comics	
		時代を映す諷刺と現代マンガの世界：企画展	2013/10
	横浜市歴史博物館	N.G. マンローと日本考古学 = N.G. Munro and Japanese archaeology	2013/4
		横浜を掘った英国人学者：N.G. マンロー生誕50年記念	
		横浜市歴史博物館紀要 第17号	2013/3
		横浜市歴史博物館資料目録 第21集	2013/3
		横浜市歴史博物館調査研究報告 第9号	2013/3
		生麦事件と横浜の村々 = The namamugi incident and its effects on Yokohama villages：生麦事件150年	2012/11
		千歯抜き：倉吉・若狭・横浜	2013/1
		地球のかたちと万国の大地：横浜市立大学コレクション・古地図の世界	2013/10
		横浜市歴史博物館企画展	
		畠山重忠：横浜・二俣川に散った武蔵武士：特別展	2012/10
	かながわ考古学財団	かながわの考古学：研究紀要 18	2013/3
		かながわの考古学：研究紀要 19	2014/3
		下馬周辺遺跡 第1分冊，第2分冊	2014/3
		河原口坊中遺跡 第1次調査 第1分冊～第5分冊	2014/3
		河原口坊中遺跡 第4次調査 第1分冊，第2分冊	2014/2
		河原口坊中遺跡 第5次調査 第6分冊	2014/3
		小倉原西遺跡	2014/2
		上ノ町遺跡 4	2014/3
		上ノ町遺跡 5	2014/3
		新羽浅間神社遺跡	2013/9
		西富岡・向畑遺跡 1 第1分冊，第2分冊	2014/2
		中依知遺跡群 第2次調査	2014/2
		年報 19（平成23年度）	2013/1
		年報 20（平成24年度）	2013/10
		畑久保西遺跡 第1分冊～第4分冊	2014/3
	横浜植物会	横浜植物会年報 第42号	2013/5
	日本野鳥の会神奈川支部	神奈川の鳥 2006-2010（神奈川県鳥類目録 6）	2013/11
川崎市	川崎市立日本民家園	旧江向家住宅	2014/1
	川崎市市民ミュージアム	カワサキ・シティ：日本を牽引する街：開館25周年記念特別展	2013/10
		郷土・川崎を掘る：川崎考古学研究所の活動の軌跡	2012/6
		諏訪天神塚古墳：多摩川低地の遺跡群研究	2011/3
		川崎市市民ミュージアム紀要 第25集	2013/3
		川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 考古資料 第3集 （旧川崎考古学研究所所蔵資料）	2013/3
		二ヶ領用水ものがたり：二ヶ領用水竣工400年記念：図録	2011/7
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	鎌倉の埋蔵文化財 = Buried cultural properties in Kamakura 平成23年度発掘調査の概要 16（玉縄城築城500年記念特集号）	2013/3
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書：平成24年度発掘調査報告 29 第1分冊，第2分冊	2013/3

出版地	寄贈者	書名	発行日
	鎌倉文化研究会	鎌倉 115号	2013/7
		鎌倉 116号	2014/1
	斉藤建設埋蔵文化財調査部・西鎌倉営業所	西富貝塚 (no. 46遺跡) : 第7次発掘調査報告書	2013/5
		藤沢市北部第二 (三地区) 土地区画整理事業区域内遺跡群発掘調査報告書 下土棚夏刈遺跡・第1地点	2013/1
		浜之郷石原B遺跡 : 第9次発掘調査報告書	2013/12
	北条泰時・時頼邸跡発掘調査団	北条泰時・時頼邸跡発掘調査報告書 : 雪ノ下一丁目395番地点	2013/9
横須賀市	横須賀市教育委員会	横須賀市文化財調査報告書 第50集	2013/3
	横須賀市自然・人文博物館	よこすか大地と生命の歴史	2012/10
		横須賀市博物館研究報告 自然科学 第60号	2013/3
		横須賀市博物館研究報告 人文科学 第57号	2012/12
		横須賀市博物館研究報告 人文科学 第58号	2013/12
		横須賀市博物館資料集 第37号	2013/3
		横須賀市博物館報 No. 60	2013/8
		宝石虫の輝き : 寺林コレクションのタマムシたち	2013/9
	横須賀市総務部 総務課市史編さん係 横須賀美術館	新横須賀市史 別編 民俗	2013/6
		横須賀美術館年報 平成24年度 (2012. 4. 1-2013. 3. 31)	2013/9
		横須賀美術館年報 別冊教育普及事業編 平成24年度	2013/8
厚木市	国際文化財株式会社 県央史談会	河原口坊中遺跡 第5次調査	2013/12
		県央史談 第52号	2013/1
		県央史談 第53号	2014/1
海老名市	海老名市立 歴史資料収蔵館	えびなの歴史 : 海老名市史研究. 5-16号	1993-2003
		海老名の地名	1998/3
		海老名をめぐるいにしへの土・時・草・石 : 海老名・相模野の理化学的分析資料集成	2002/3
		海老名市史 1 (資料編 原始・古代)	1998/3
		海老名市史 2 (資料編 中世)	1998/3
		海老名市史 3 (資料編 近世 1)	1994/3
		海老名市史 3 [2] (資料編 近世 2)	1996/3
		海老名市史 4 (資料編 近代)	2002/3
		海老名市史 5 (資料編 現代)	2005/6
		海老名市史 6 (通史編 原始・古代・中世)	2003/3
		海老名市史 7 (通史編 近世)	2001/7
		海老名市史 8 (通史編 近代・現代)	2009/3
		海老名市史 9 (別編 民俗)	1993/3
		海老名市史 10 別編ダイジェスト 上 (えびな歴史ものがたり 上)	2011/3
		海老名市史 10 別編ダイジェスト 下 (えびな歴史ものがたり 下)	2013/3
		海老名市史資料所在目録 第6集	1993/3
		海老名市史資料所在目録 第7集	1994/3
		海老名市史資料所在目録 第9集 (新聞記事目録 1 横浜貿易新報 明治31年(1898)4月~45年(1912)7月)	1996/1
		海老名市史資料所在目録 第10集 (新聞記事目録 2 横浜貿易新報 大正元年(1912)8月-7年(1918)12月)	1998/1
		海老名市史資料所在目録 第11集 (新聞記事目録 3 横浜貿易新報 大正8年(1919)1月-15年(1926)12月)	1998/10
		海老名市史資料所在目録 第12集 (新聞記事目録 4 横浜貿易新報 昭和2年(1927)1月-昭和10年(1935)12月)	2001/3
		海老名市史資料所在目録 第13集 (新聞記事目録 5 (横浜貿易新報・ 神奈川県新聞・神奈川県新聞 昭和11年(1936)1月-昭和30年(1955)12月)	2003/3
		海老名市史資料所在目録 第14集 (新聞記事目録 6 (神奈川県新聞 昭和31年1月-昭和46年12月)	2004/3
		海老名市史資料所在目録 第16集 (門沢橋 本郷 上河内 今里)	2006/6
		海老名市史資料所在目録 第18集 (新聞記事目録 8 (神奈川県新聞 昭和55年1月-昭和59年12月)	2009/9

出版地	寄贈者	書名	発行日
		郷土の近世文書を読む 1	1995/3
		郷土の近世文書を読む 2	1997/3
		史籍解題・地名人名索引	1998/3
		事務報告書：旧海老名村・有馬村	1999/3
		神尾騒動：幕末・旗本領主の御家騒動：杉久保村高橋治右衛門 「出府中日記控帳」・「出府中諸入用書上控帳」	2006/3
		中山每吉：その人と業績 相模国分寺研究の先駆者	1995/3
		齊藤定八日記	1998/3
相模原市	相模原市立博物館	相模原市史ノート 第10号	2013/3
		津久井町の気象	2013/2
		津久井町の動物	2013/2
	大成エンジニアリング 神奈川営業所	浄業寺跡	2013/12
茨城県	稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報 第7号	2013/3
		古山浩一万年筆画の世界：稲敷市を描く	2013/7
		御仏のかたち 3：稲敷市桜川地区仏教遺宝展：企画展	2013/12
		松田朝旭描き続ける日々：新利根ノスタルジー	2013/3
		小美玉市史料館報 第7号	2013/3
		婆娑羅たちの武装：戦国を駆け抜けた武将達の甲冑と刀剣：第34回特別展	2013/3
栃木県	日本窯業史研究所	養林寺旧境内遺跡第I地点	2013/5
群馬県	渋川市教育委員会 文化財保護課	渋川市市内遺跡 6	2013/3
		渋川市文化財年報 平成23年度	2013/3
	毛野考古学研究所	白井二位屋遺跡 4	2012/10
埼玉県	立正大学博物館	青山顕彰氏寄贈考古資料コレクション	2011/3
		泥塔と瓦経：第8回特別展	2013/11
		立正大学博物館年報 9（平成22年度）	2011/5
		立正大学博物館年報 10（平成23年度）	2012/4
		立正大学博物館年報 11（平成24年度）	2013/4
	春日部市教育委員会 埼玉県立川の博物館	小湊山下遺跡7. 8次地点・小湊山下北遺跡15. 16. 17. 18. 19次地点	2013/3
		あらかわの田んぼ図鑑	2012/9
		紀要 7号	2007/3
		紀要 8号	2008/3
		紀要 13号	2013/3
	高麗神社 社務所 八潮市立資料館	高麗神社史料集. 第2巻（高麗家文書 1）	2013/11
		資料にみるムラの暮らし：第29回企画展	2013/1
		地震資料展：第8回（生涯学習）企画展	[1993]
		八潮の災害史：先人に学ぶ江戸時代から現代まで：第30回企画展	2013/8
	富士見市立難波田城 資料館	田んぼ今昔：耕地改良のあゆみ：平成26年春季企画展	2014/3
	杉戸町教育委員会	大堀荒田遺跡 第1次・第2次調査	2013/3
		町内遺跡発掘調査 2	2013/3
		東上遺跡 第2次調査	2013/9
	税務大学校 税務情報センター	営業税関係史料集：国税営業税を中心に	2013/3
千葉県	館山市立博物館	船形：海に育まれた港町	[2012]
		幕末の東京湾警備：平成24年度特別展	2013/2
	伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第14号（平成23年度）	2012/12
		伊能忠敬記念館年報 第15号（平成24年度）	2013/12
	国立歴史民俗博物館	時代を作った技：中世の生産革命：企画展示	2013/7
		東日本大震災と気仙沼の生活文化：図録と活動報告：第4展示室特集展示 -人間文化研究機構連携展示	[2013]
		歴史にみる震災：企画展示	2014/3
	市立市川考古博物館	市立市川考古博物館館報 第39号	2012/3
		市立市川考古博物館館報 第40号	2013/3
	市立市川歴史博物館	市立市川歴史博物館館報 平成23年度	2013/3
	松戸市立博物館	松戸の発掘60年史：市内の遺跡を再検討：市制施行70周年・開館20周年 記念特別展	2013/10

出版地	寄贈者	書名	発行日
		松戸市立博物館年報 20号 (平成24年度)	2013/8
	千葉県立加曾利貝塚博物館	貝塚博物館紀要 第40号	2013/3
	千葉県立中央博物館	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学 第13巻1号 (通巻26)	2012/12
	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	動物たちの考古学 : 人と動物を考える : パンフレット : 平成24年度船橋市飛ノ台史跡公園博物館企画展	2012/11
		飛ノ台史跡公園博物館紀要 第10号	2013/3
	野田市郷土博物館	「読んでみました野田の古文書」-初心者挑戦3年間の整理・解説・調査から-記念誌 : 平成24年度野田市郷土博物館企画展市民の文化活動報告展	2013/4
	日本大学生産工学部 建築工学科藤谷研究室	春日部・旧鈴木久五郎邸調査報告書	[2013]
東京都	外務省外交史料館	外交史料館報 第27号	2013/12
	港区教育委員会	港区埋蔵文化財調査年報 10 (平成23年度の調査他)	2013/3
	港区立港郷土資料館	研究紀要 15 (平成24年度)	2013/3
		後久洋家具店製作家具図面集 : 港区立港郷土資料館所蔵	2014/3
		港郷土資料館館報 30 (平成23年度版)	2013/2
		港郷土資料館館報 31 (平成24年度版)	2013/10
		港区指定文化財 平成24年度	[2012/10]
	物流博物館	明治・大正・昭和の鉄道貨物輸送と小運送	2013/9
	文化環境研究所	Cultivate No. 41	2013/8
	日本ユネスコ協会連盟	世界遺産年報 : the world heritage. 2014 (No. 19)	2014/1
	杉並区立郷土博物館	杉並区立郷土博物館研究紀要・年報 20号 (平成23年度)	2013/3
	駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅文化歴史博物館年次報告書 平成24年度	2013/5
	世田谷区教育委員会 次大夫堀公園民家園	野菜の時代 : せたがやそだちの源流 : 平成25年度次大夫堀公園民家園企画展	2013/11
	憲政記念館	戦後日本の再出発特別展	2013/11
	昭和館	昭和のくらし研究 11号	2013/3
		昭和館館報 14号 (平成24年度)	2013/10
		夢と希望と困難と : 昭和の働く女性 : 昭和館特別企画展展示図録	2014/3
	日本学術振興会	科研費news : 科学研究費補助金 : grants-in-aid for scientific research. 2012 Vol. 4-2013 Vol. 3	[2013/3]
	日本博物館協会	子どもとミュージアム : 学校で使えるミュージアム活用ガイド	2013/9
	明治大学学芸員養成課程	"Museum study : Bulletin of the Course for Prospective Museum Workers, Meiji University" 24 (2012年度)	2013/3
		Museologist : 明治大学学芸員養成課程年報 28 (2012年度)	2013/3
	多摩市文化振興財団 バルテノン多摩	空から街を見る : パルテノン多摩収蔵写真資料集	2014/1
		富沢家日記 : 天保14年-弘化5年	2013/3
	国立科学博物館	Milsil : 自然と科学の情報誌 Vol. 6 No. 3(33)-Vol. 7 No. 2(38)	2013-2014
	大田区立郷土博物館	川瀬巴水	2013/10
	伝統文化活性化国民協会	伝統文化 No. 48 (2013・夏)	2013/7
		伝統文化 No. 49 (2013・秋)	2013/9
	玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館館報 11号 2012年度	2013/8
		玉川大学教育博物館紀要 10号	2013/3
	町田市立自由民権資料館	自由民権 : 町田市立自由民権資料館紀要 26	2013/3
		小嶋隆蔵「御進発御供日記」 2	2013/3
		武相自由民権運動関係年表	2013/3
	町田市立博物館	町田市立博物館所蔵民俗資料目録	2013/3
	国立ハンセン病資料館	国立ハンセン病資料館20周年記念誌	2013/6
	東京家政大学博物館	東京家政大学博物館紀要 第18集	2013/2
	板橋区教育委員会	歴史民俗研究 : 櫻井徳太郎賞受賞論集 第10輯	2013/3
	板橋区立郷土資料館	地域史シリーズあかつか : 企画展	2013/10
		板橋と馬 : 特別展	2014/1
		板橋区立郷土資料館紀要 ; 板橋区立郷土資料館年報 19号 (2013)	2013/3
	品川区立品川歴史館	今井金吾コレクション目録 : 品川区立品川歴史館所蔵	2013/3
		大井に大仏がやってきた! : 養玉院如来寺の歴史と寺宝	2013/10
		品川歴史館特別展	

出版地	寄贈者	書名	発行日
	府中市郷土の森博物館	府中市郷土の森博物館紀要 第27号 (2014年)	2014/3
	お茶の水女子大学 学芸員課程委員会	博物館実習報告 第29号 (2013年度)	2014/1
	豊島区立郷土資料館	生活と文化 : 研究紀要 22号 (2012)	2013/3
	東京都江戸東京博物館	芝地域を考える-愛宕山・増上寺・芝神明	2012/11
	株式会社四門 文化財事業部	西久保大屋敷B遺跡 : 西久保大屋敷B遺跡第10次調査報告	2013/3
	地方史研究協議会	地方史研究 365号 (63巻5号)	2013/10
	日本能率協会総合研究所 地域安全まちづくり 研究部	1703 元禄地震 報告書	2013/3
	鹿島出版会 出版事業部	Kajima No.646	2013/6
	風人社	ウォークマップホントに歩く東海道 第3集 (大磯-箱根関所) [地図資料]	2013/5
	法研	へるすあっぷ21	2013/6
	エクスマレッジ	文豪の家	2013/4
	平凡社	明治の細密工芸 : 驚異の超絶技巧!	2014/4
	オールアウト	昭和は輝いていた #18 湘南 [映像資料]	[2013/8]
	創森社	大磯学 : 自然、歴史、文化との共生モデル	2013/10
長野県	茅野市教育委員会	駒形遺跡 : 平成23・24年度保存目的のための確認調査報告書	2013/3
		新井下遺跡 : 新中村配水池建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	2013/3
	茅野市八ヶ岳総合博物館	紀要 21号 (平成24年度)	2013/3
		八ヶ岳で知る菌類の世界 : きのコ・カビ・酵母を楽しむ : 八ヶ岳総合博物館開館25周年記念特別展	2013/7
静岡県	富士宮市教育委員会	富士宮市の道祖神	2013/3
	沼津市歴史民俗資料館	古宇浦漁業組合文書目録	2013/3
		沼津市博物館紀要 37	2013/3
	焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 27 (平成24年度)	2013/10
愛知県	安城市歴史博物館	安城で紡がれた南吉の詩 : 朗読詩集	2013/7
		企画展 安城の文化財 : モノ語り名品展	2013/4
		三州に一揆おこりもうす : 三河一向一揆450年 : 特別展	2013/11
		南吉が安城にいた頃 : 特別展	2013/7
		年報 第22号 (平成24年度)	2013/7
	一宮市尾西歴史民俗 資料館	市川房枝 : 生誕120年記念特別展	[2013]
		博覧会と尾西織物 : 特別展	2013/1
	豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館年報 第25号 平成24年度	2013/6
	豊橋市二川宿本陣資料館	絵葉書のなかの豊橋 2	2012/7
		美濃路展 : 宮・名古屋・清須・稲葉・萩原・起・墨俣・大垣・垂井	[2013]
大阪府	大阪市立自然史博物館	自然史研究 Vol.3 No.14 31-I-2013	[2013]
		大阪の地質見どころガイド	2013/3
		大阪市立自然史博物館館報 38 (平成24年度)	2013/6
		大阪市立自然史博物館研究報告 第67号	2013/3
		大阪市立自然史博物館所蔵双翅目目録 = Specimen list of diptera in the insect collection of the Osaka Museum of Natural History. 1	2013/3
		第44回特別展 「いきもの いっぱい 大阪湾」解説書 「大阪湾本」	2013/7
	富田林市教育委員会	富田林市内遺跡群発掘調査報告書 平成24年度	2013/3
兵庫県	たつの市立 龍野歴史文化資料館	豪農に伝来する絵画	2013/10
和歌山県	和歌山県立自然博物館	和歌山県立自然博物館館報 第31号	2013/11
鳥取県	鳥取県立博物館	フナイタケヒコ = Takehiko Funai : 絵画の光景	2013/2
広島県	北広島町教育委員会 生涯学習課	ユネスコ無形文化遺産壬生の花田植 : 歴史・民俗・未来	2014/3
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園年報 第12号 (2012)	2013/7
福岡県	アジア水中考古学研究所	水中文化遺産データベース作成と水中考古学の推進 : 海の文化遺産総合 調査報告書	2013/3

<受入機関誌・広報誌>

出版地	発行者	誌名	巻号	発行年月
大磯町	大磯ガイドボランティア協会	照ヶ崎	15-18	2013/5.8.11
茅ヶ崎市	Sonny & Co	湘南サーフジャーナル	14, 15	2012/12, 2013/3
秦野市	野生動物救護の会	Runner	16-18	2013/4.9.12
寒川町	寒川文書館	寒川文書館だより	14	2013/9
小田原市	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら	73-76	2013/6.9.12, 2014/3
山北町	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター	丹沢湖ビジターセンターだより	29-32	2013/6
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより	30	2013/11
	横浜都市発展記念館	ハマ発newsletter	21	2014/1
	岩崎博物館	岩崎ミュージアムプレス	137-141	2013/5.6.8.10, 2014/2
	神奈川県近代文学館 (神奈川県文学振興財団)	神奈川県近代文学館	120-123	2013/4.7.10, 2014/1
	神奈川県教育委員会	民俗芸能情報提供	1月-3月	[2012/12]
	神奈川県博物館協会	Network	34	2013/9
	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館だより	193-195	2013/6.9.12
	横浜市歴史博物館	横浜市歴史博物館news	34, 35	2013/3.9
	かながわ考古学財団	考古学財団発掘帖	20, 21	2013/7.10
川崎市	川崎市立日本民家園	日本民家園だより	79, 80	2013/7, 2014/1
	川崎市市民ミュージアム	Museum news	87, 90	2013/5, 2014/2
鎌倉市	鶴岡八幡宮宝物殿	社報 鶴岡	117, 118	2013/6, 2014/1
横須賀市	横須賀美術館	Corridart	11	2013/3
清川村	丹沢自然保護協会	丹沢だより	506-516	2013/4-12, 2014.1-2
厚木市	厚木市教育委員会	厚木市史たより	6-9	2012/8.12, 2013/4.9
栃木県	小山市立博物館	小山市立博物館博物館だより	57	2013/9
埼玉県	立正大学博物館	万吉だより	13-18	2010/12-2014/3
	埼玉県立川の博物館	かわはく	45-47	2012/11, 2013/3.7
千葉県	館山市立博物館	ミュージアム発見伝	87	2013/2
	松戸市立博物館	まつどミュージアム	21	2013/3
	船橋市郷土資料館	船橋市郷土資料館資料館だより	100	2013/3
	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	とびのだい	38-40	2012/7, 2013/1.3
東京都	葛飾区郷土と天文の博物館	博物館だより	107	2013
	港区立港郷土資料館	港郷土資料館だより	71-72	2013/3.9
		港区立港郷土資料館へ行ってみよう!	10	2013/3
	杉並区立郷土博物館分館	炉辺閑話	48	2013/3
	靖国神社遊就館	靖国	693-704	2013/4-12, 2014/1-3
	多摩市文化振興財団 パルテノン多摩	パルテノン多摩 MUSEUM NEWS	23-26	2013/4.8.11, 2014/3
	玉川大学教育博物館	博物館ニュース Shu	40, 41	2013/3.9
	東京家政大学博物館	館報	59, 60	2013/5.10
	府中市郷土の森博物館	あるむぜお	104, 105, 107	2013/6.9, 2014/3
	学習院大学学芸員資格取得事務室	学芸員	17	2013/1
	豊島区立郷土資料館	かたりべ	106-109	2012/1.7, 2013/1.3
	お札と切手の博物館	お札と切手の博物館ニュース	32, 33	2013/7.12
	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館news	83, 84	2013/9.12
岩手県	牛の博物館	牛のはくぶつかん	40, 41	2013/2.7
山梨県	環境庁自然保護局生物多様性センター	生物多様性センターニューズレター	33	2013/7
長野県	茅野市八ヶ岳総合博物館	八ヶ岳通信	31	2013/3
岐阜県	藤村記念館	藤村記念館だより	135, 136	2013/11, 2014/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館だより	197-201	2013/3.6.9.12, 2014/3
	静岡県立美術館	アマリス	109-112	2013/4.6.10, 2014/1
愛知県	安城市歴史博物館	博物館ニュース	88-91	2013/4.6.10, 2014/1
	豊橋市美術館	風伯	85-88	2013/3.8.11, 2014/2
滋賀県	草津宿街道交流館	街道文化通信	27, 28	2013/9, 2014/3
兵庫県	人と防災未来センター	資料室ニュース	51	2013/8
和歌山県	和歌山県立自然博物館	自然博物館だより	Vol.31 No.1-4	2013/3.6.9.12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより	54-56	2013/6.8.12

研究報告

講座『みんなで町の自然を調べよう～身近な草木の実と冬の花しらべ～』及び学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬』の実施報告

* 北水 慶一

1. はじめに

大磯町郷土資料館では、前々年度、前年度に引き続き、教育普及活動事業と企画展事業を連動させた企画を実施した。教育普及活動事業に位置づける植物の分布調査と企画展事業とを組み合わせる企画である。これまでに春、夏、秋と季節ごとに植物調査を続けてきており、本企画では冬の植物を対象とした。企画の進め方は、植物調査と企画展の準備を同時並行で進め、企画展会期中にも調査を行ない、その都度、調査の結果を展示に反映させるというやり方で進めた。本稿では企画の進行を紹介するとともに一連の調査の結果を紹介する。

2. 講座『みんなで町の自然を調べよう～身近な草木の実と冬の花しらべ～』の実施

2-1. 調査方法

1) 調査員

調査員は植物調査に慣れている方、不慣れな方を問わず、町広報で募集し、参加者を募った。呼びかけに対して大磯町及び近隣市町在住の 32 人の方々にご応募いただいた。

2) 調査期間

調査期間は1年間を24の時期に分ける二十四節気をもとに、2012年の立冬(11月7日)から2013年の立春の前日(2月3日)までを調査期間とした。

3) 調査の種類と対象植物

参加者との話し合いのもと5種類の調査を実施することにした。「赤い実をつける草木の分布調査」、「ドングリをつける樹木の分布調査」、「帰化植物(セイタカアワダチソウ・オオブタクサ)の分布調査」、「町中の大きな木調査」、「町中の珍しい木調査」である。

「赤い実をつける草木の分布調査」ではアオキ、ガマズミ、クコ、サンゴジュ、ナンテン、ニシキギ、ニセジュズネノキ、ヒヨドリジョウゴ、マンリョウ、ヤブコウジの10種類を対象とした。「ドングリをつける樹木の分布調査」では、スダジイ、ツブラジイ、マテバシイ、コナラ、クヌギ、カシワ、ウバメガシ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシの10種類を対象とした。帰化植物の分布調査は、本町において帰化植物はたくさんの種類が確認されているが、中でも特によく知られるセイタカアワダチソウとオオブタクサの2種類を対象とした。



図1 調査の様子

「町中の大きな木調査」、「町中の珍しい木調査」では、事前に対象とする樹木を選ばず、「大きな木調査」に関しては胸高直径が1メートルより大きなものを選び出し、「珍しい木調査」は、町中を歩いた中であまり見かけない、珍しい木を選び出すことにした。

4) 調査方法

調査は合同調査、個別調査の2種類の方法で実施した。

合同調査は種の見分け方や確認できそうな環境等の情報交換を目的に調査期間中に4回行なった。運動公園や大磯駅等参加者が集まりやすい場所に集合し、巡回後また同じ場所で解散できるようにコースを組んだ。個別調査では大磯町を17の区域に分け、それぞれの区域に担当者をあてて、都合のよい時に巡回できるようにした。本調査で巡回したコースは図2に示すとおりである。

2-2. 調査の結果

それぞれの調査の結果は、図3から図24のとおりである。図3から図22については、地図上に確認したポイントを赤い丸印で示している。実際の調査では確認した場所で株数を数え、10株以上と10株未満の場所では表記の仕方を変えたが、本稿では、確認したポイントのみを紹介している。

1) 赤い実をつける草木の分布調査

調査対象とした10種類をすべて確認することができた。赤い実というタイトルの調査であったが調査期間中、アオキは赤みを帯びず、緑色のままであった。対象とした10種類の中では、確認地点の数はアオキが最も多かった。アオキは実をつけていない雄株も多数、確認できたが、今回の調査では実をつけている雌株のみを記録した。逆にあまり確認できなかった種類はニシキギとニセジュズネノキで、ニ

(* 当館学芸員)

シキギが1箇所、ニセジュズネノキが2箇所のみだった。生息環境という点ではアオキ、ガマズミ、ニセジュズネノキ、ヒヨドリジョウゴは丘陵地に多く、クコ、サンゴジュ、ナンテン、ニシキギ、マンリョウ、ヤブコウジは市街地に多かった。

2) ドングリをつける樹木の分布調査

今回の調査では、ドングリの確認調査を基本として進めた。樹木本体は見かけるが、ドングリをつけていない木や周辺に全くドングリが落ちていない木などは記録から外した。

当初はスダジイ、ツブラジイ、マテバシイ、コナラ、クヌギ、カシワ、アラカシ、シラカシ、ウラジロガシの9種類を対象に調べていたが、ウバメガシも数箇所を確認できたので、1種類加えて10種類を対象とした。よく確認できたのはスダジイ、コナラ、アラカシだった。生息環境という点ではスダジイ、コナラ、クヌギ、アラカシは丘陵地に多く、ツブラジイ、マテバシイ、ウバメガシ、シラカシは市街地の公園、広場などでよく見られた。

3) 帰化植物(セイタカアワダチソウ・オオブタクサ)の分布調査

調査期間中、セイタカアワダチソウはかろうじて花が残る状態であったが、オオブタクサは既に花期が過ぎ、枯れた状態だった。

セイタカアワダチソウは町内全域で多数確認することができた。特に空き地や休耕田でよく見られた。オオブタクサは河川沿いや丘陵地の道路沿いで確認できた。完全に枯れ、見分けが付きづらいものも見られたため、実際の株数、確認地点数はもっと多いものと思われる。今後、オオブタクサの分布状況を調

べる機会があれば、時期を考慮する必要がある。

4) 町中の大きな木調査

本調査では、18種48本を記録した。結果は図23のとおりである。樹種としては、エノキが一番多く9本が記録された。次にケヤキ、タブノキ、サクラが多く、それぞれ8本、7本、6本であった。

高麗山、鷹取山等の丘陵地で数本確認記録があったが、多くは市街地で確認されたものであり、あらためて住宅地のそばに大木が残っていることが分かった。

5) 町中の珍しい木調査

本調査では、9種13本を記録した。結果は図24のとおりである。調査において2本の合体木が確認できた。カゴノキとイヌシデの合体木とジュウガツザクラとスダジイの合体木である。本町高麗地区にシニッケイという、スダジイとヤブニッケイの合体木があり、町の天然記念物に指定されているが、今回の調査で確認できた2本の合体木はあまり知られていないものであった。

その他に珍しい樹木として、カエデ科のハナノキがあげられる。大磯駅近くの公園に植樹されたものであるが、本町の公園、空き地等では全く見られず、葉の形が変わった樹木があると話題になり、本調査で確認、記録に至った。

本調査で記録された樹木は13本と少なかった。これは珍しいかどうかという判断基準が調査者によってまちまちで、候補としてあげながらも記録していない樹種が多いのではないかと考える。調査者全員で一同に悉皆調査をする等、調査方法を検討する必要があると思われる。



図2 巡回したコース

大磯町1995年発行「大磯町全図(1万分の1)」の地図を縮小して使用)



図3 アオキの分布

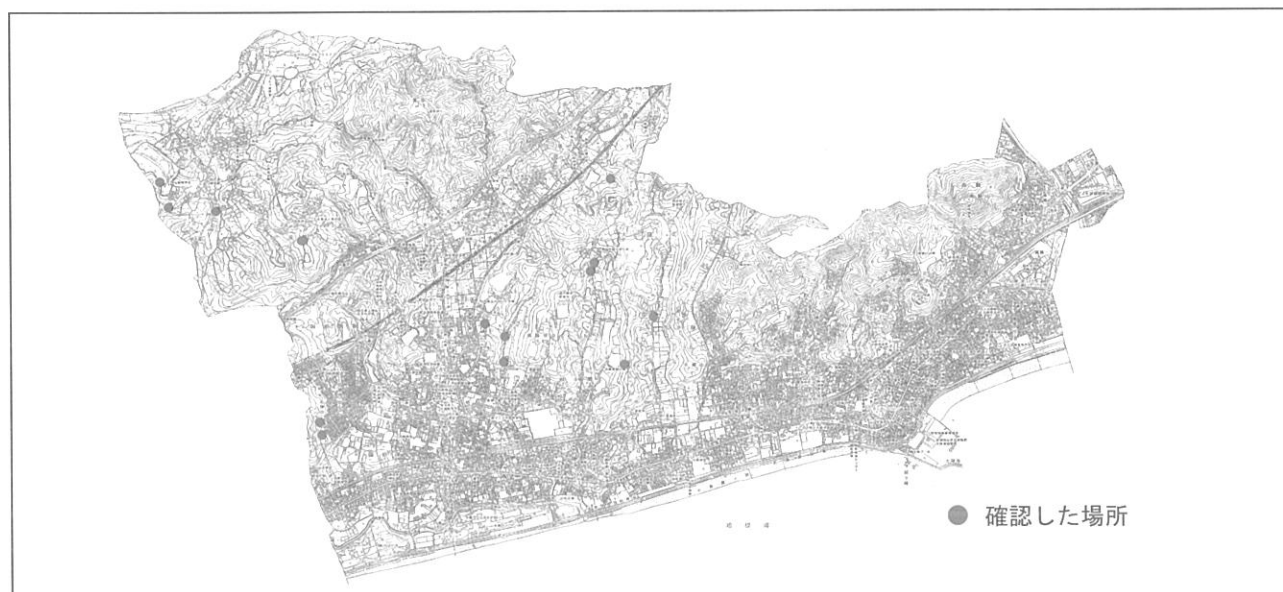


図4 ガマズミの分布



図5 クコの分布

※ 30～38 ページの地図は、いずれも大磯町 1995 年発行「大磯町全図（1 万分の 1）」の地図を縮小して使用



図6 サンゴジュの分布



図7 ナンテンの分布



図8 ニシキギの分布



図9 ニセジュズネノキの分布



図10 ヒョドリジョウゴの分布



図11 マンリョウの分布



図 12 ヤブコウジの分布



図 13 スダジイの分布



図 14 ツブラジイの分布

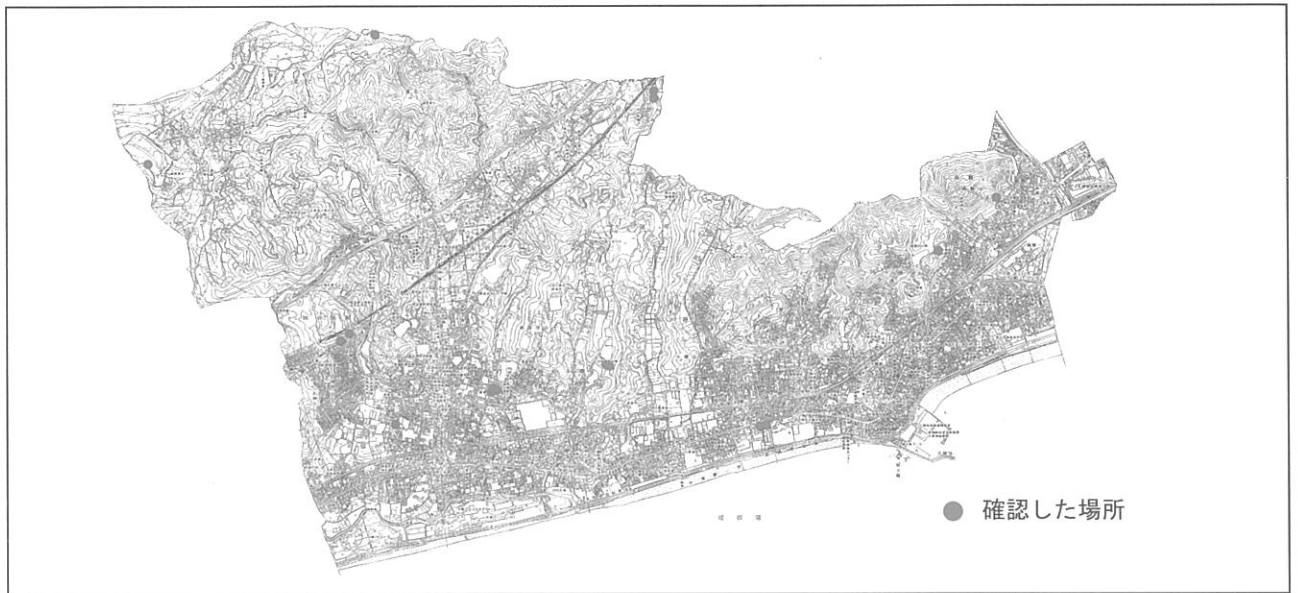


図 15 マテバシイの分布



図 16 コナラの分布

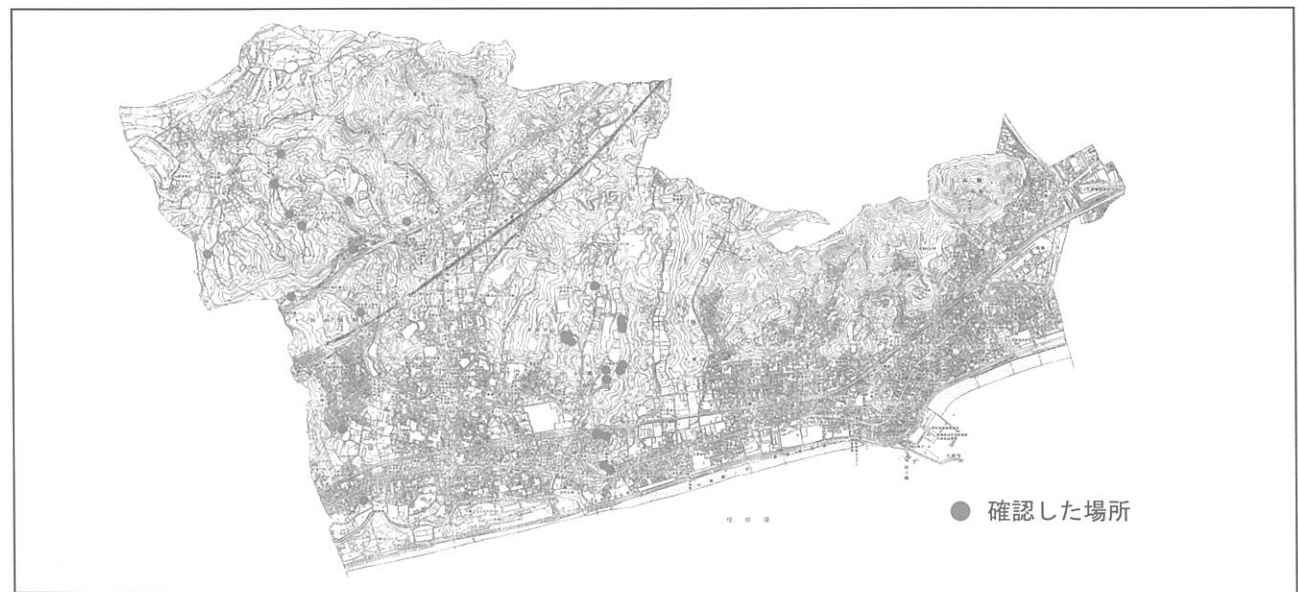


図 17 クヌギの分布

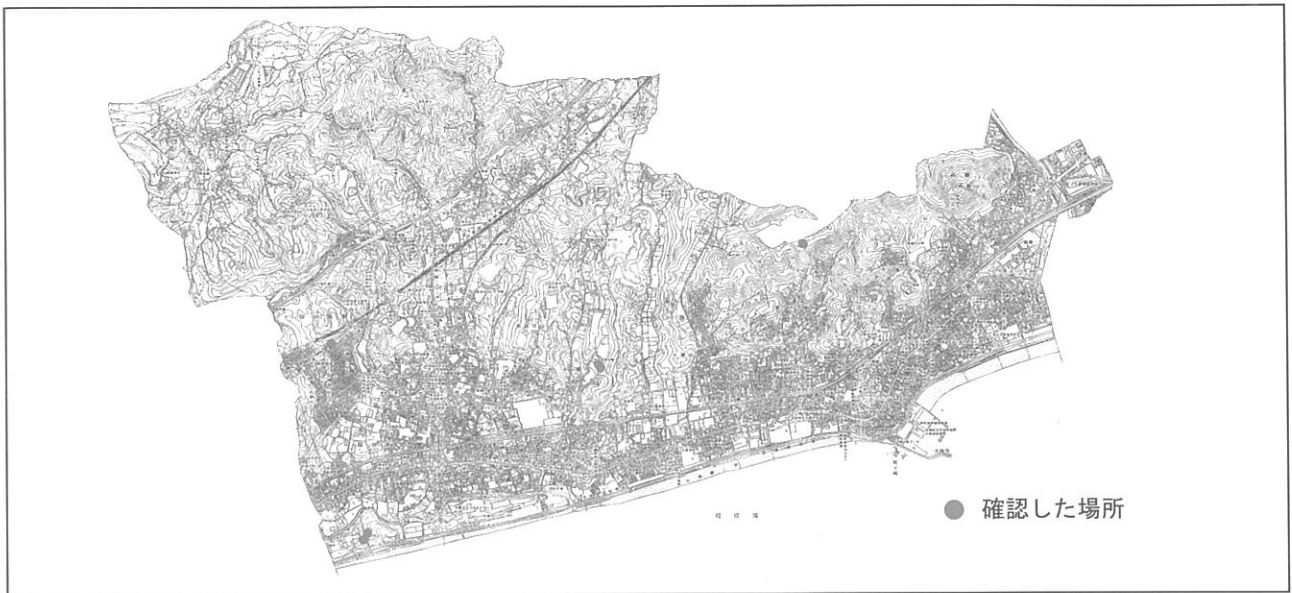


図 18 ウバメガシの分布



図 19 アラカシの分布



図 20 シラカシの分布

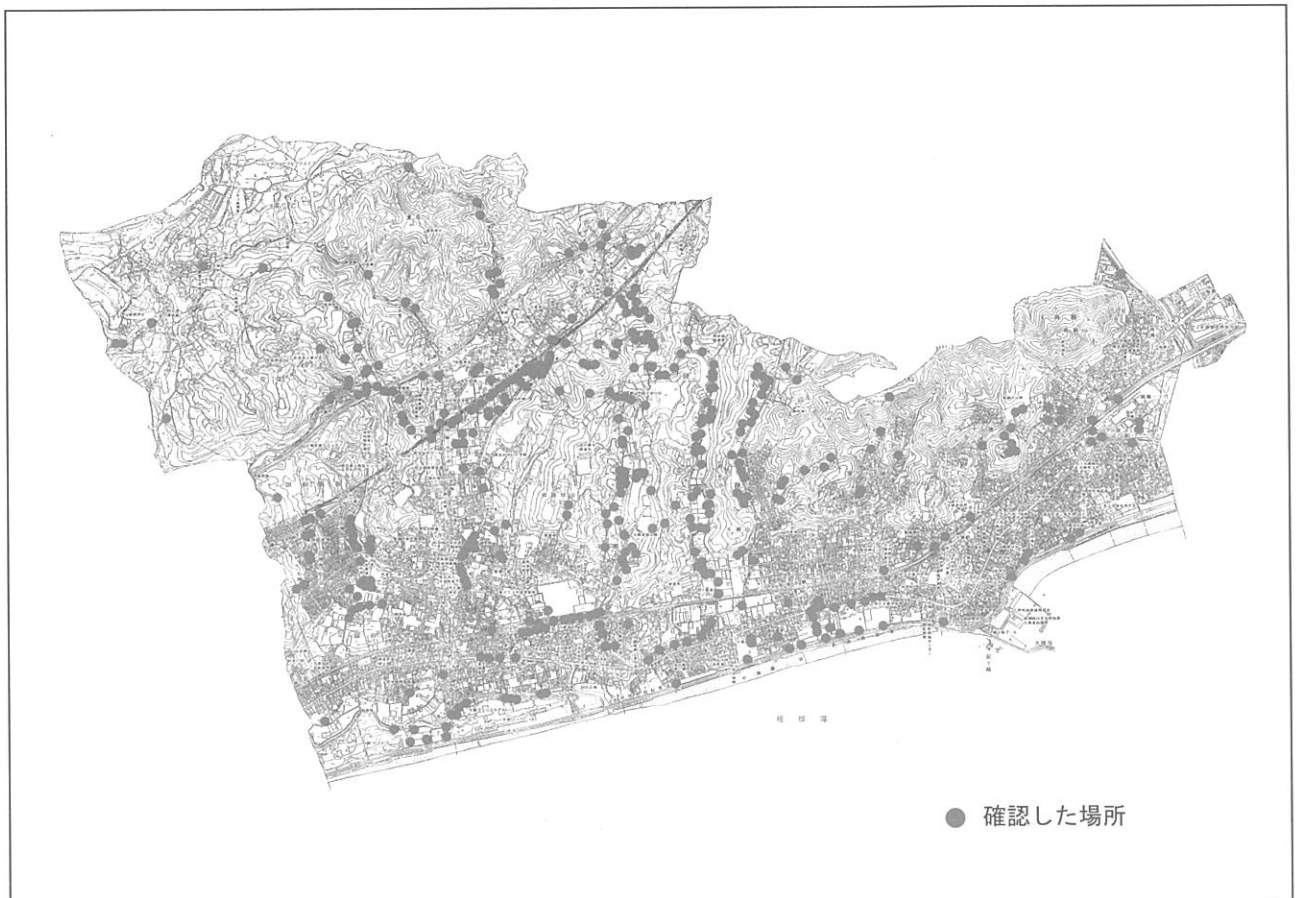


図 21 セイタカアワダチソウの分布

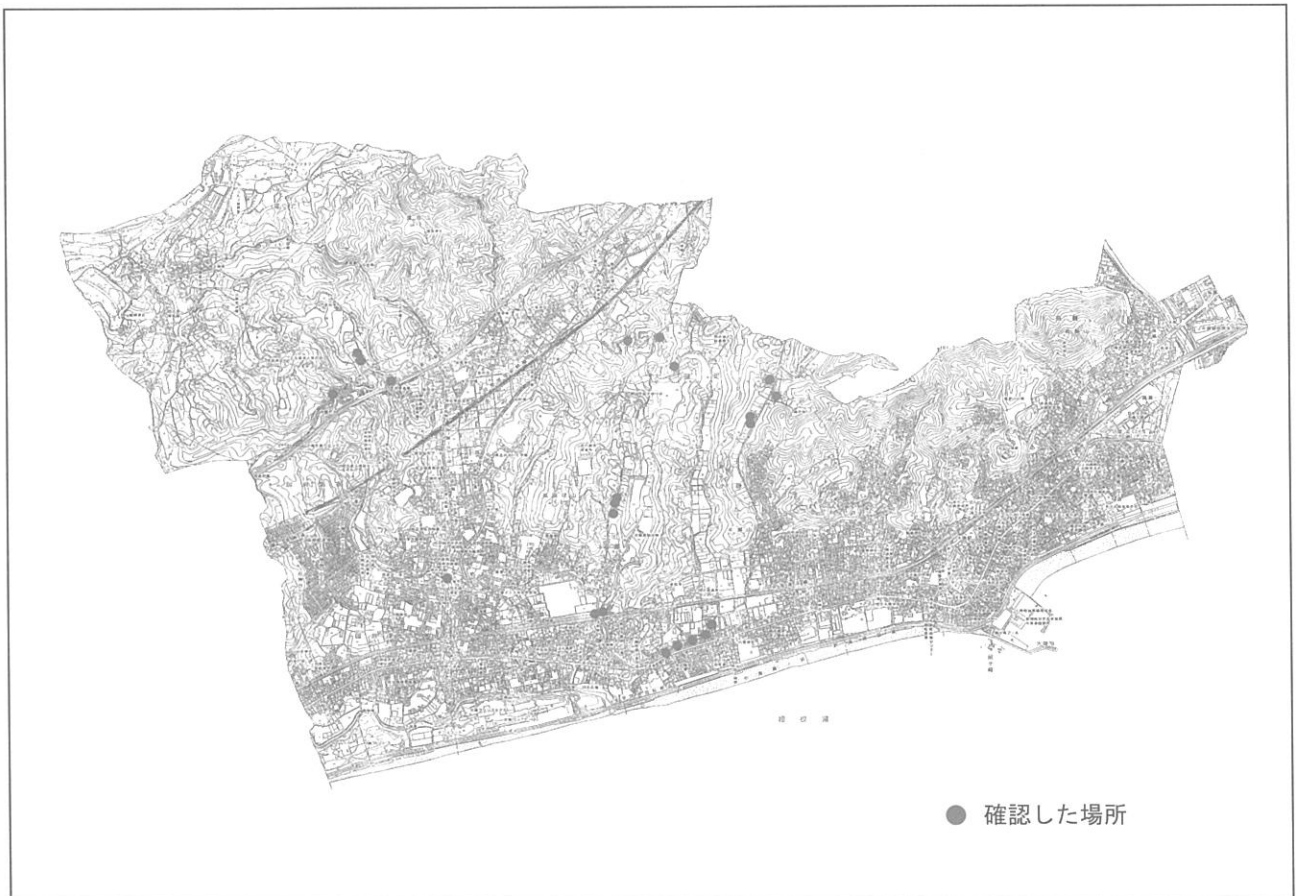
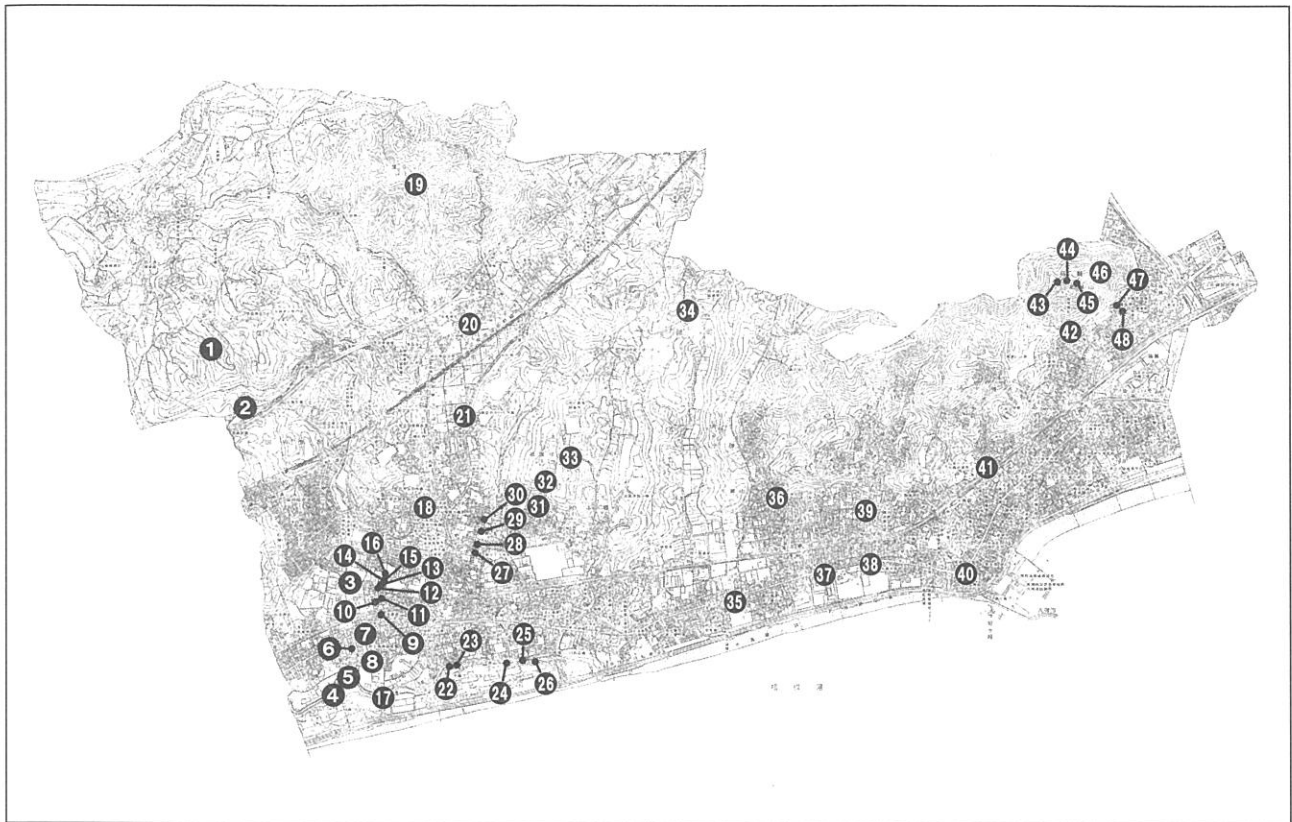
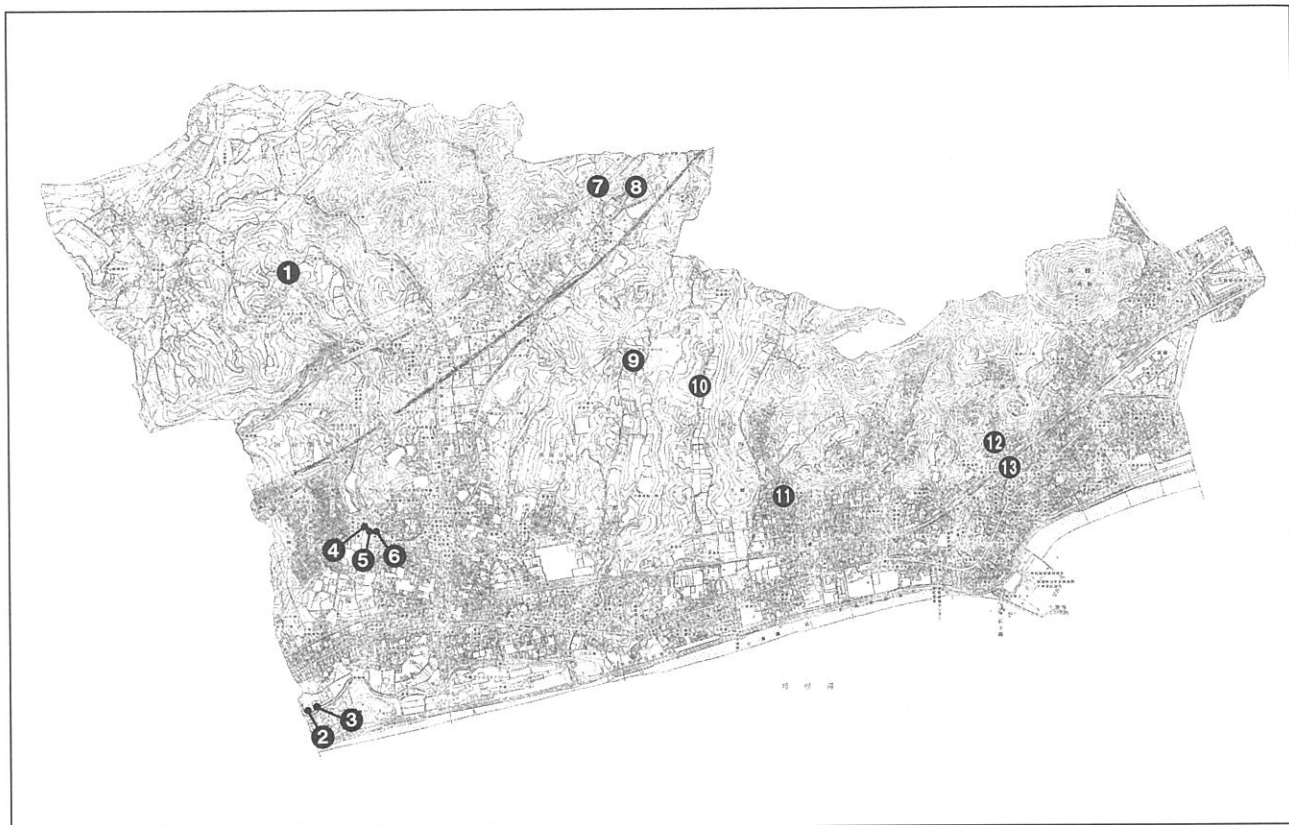


図 22 オオブタクサの分布



No.	樹種名	No.	樹種名	No.	樹種名
1	エノキ	17	エノキ	33	コナラ
2	クヌギ	18	クスノキ	34	ケヤキ
3	タブノキ	19	カゴノキ	35	クスノキ
4	サクラ	20	ケヤキ	36	クスノキ
5	エノキ	21	エノキ	37	エノキ
6	クスノキ	22	サクラ	38	クロマツ
7	マキ	23	サクラ	39	タブノキ
8	エノキ	24	サクラ	40	クロマツ
9	カヤ	25	サクラ	41	イチョウ
10	ケヤキ	26	サクラ	42	ホルトノキ
11	ケヤキ	27	ケヤキ	43	ケヤキ
12	タブノキ	28	ムクノキ	44	ケヤキ
13	タブノキ	29	エノキ	45	ケヤキ
14	シロダモ	30	エノキ	46	メタセコイア
15	スダジイ	31	タブノキ	47	タブノキ
16	タブノキ	32	エノキ	48	ナギ

図 23 町中の大きな木調査の結果



No.	樹 種 名
1	ガゴノキとイヌシデの合体木
2	モモ (紅白の花)
3	オニグルミ
4	オニグルミ
5	オニグルミ
6	オニグルミ
7	キ リ
8	センダン
9	アオギリ
10	ジュウガツザクラとスダジイの合体木
11	ナ ギ
12	アオギリ
13	ハナノキ

図 24 町中の珍しい木調査の結果

表1 展示した冬の花の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	キツタ	(未詳)	国府本郷	内山 千代子	14	ヒイラギ	12月5日	生沢	北水 慶一
2	コウヤボウキ	11月21日	国府本郷	北水 慶一	15	ヒイラギ	11月22日	西久保	村田 愈子
3	ジュウガツザクラ	11月10日	西小磯	宮原 恒雄	16	ヒマラヤザクラ	1月8日	西久保	村田 愈子
4	シロダモ	11月27日	西小磯	飯田 福信	17	ヒメツルソバ	11月24日	大磯	保坂 匠
5	シロツメクサ	12月5日	生沢	北水 慶一	18	ビワ	1月5日	西久保	村田 愈子
6	スギ	1月8日	西久保	村田 愈子	19	ホトケノザ	12月1日	国府新宿	吉川 武士
7	セイトカアワダチソウ	12月1日	国府新宿	吉川 武士	20	マルバシャリンバイ	11月27日	大磯	飯田 福信
8	タイアザミ	12月12日	虫窪	吉川 武士	21	ミヅソバ	11月8日	黒岩	北水 慶一
9	ツクバトリカブト	11月8日	大磯	飯田 福信	22	ムラサキツメクサ	11月30日	生沢	簗島 淳子
10	ツワブキ	11月30日	大磯	飯田 福信	23	ヤクシソウ	11月8日	生沢	北水 慶一
11	ナズナ	12月1日	国府新宿	吉川 武士	24	ヤツデ	12月1日	高麗	宮原 恒雄
12	ノゲシ	12月14日	西小磯	北水 慶一	25	ヤマハッカ	11月10日	国府本郷	宮原 恒雄
13	ハマヒサカキ	11月25日	東町	飯田 福信					

表2 展示した果実の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	アオキ	11月10日	西小磯	宮原 恒雄	15	サルトリイバラ	11月21日	西久保	村田 愈子
2	アオキ	1月20日	西久保	小山 由雄	16	センリョウ	11月30日	大磯	飯田 福信
3	アオギリ	11月10日	国府本郷	宮原 恒雄	17	ツルウメモドキ	12月1日	国府本郷	宮原 恒雄
4	アラカシ	11月21日	西小磯	北水 慶一	18	トキリマメ	11月10日	西小磯	保坂 匠
5	イシミカワ	11月10日	西小磯	吉川 武士	19	ナンテン	12月6日	高麗	北水 慶一
6	ウバメガシ	12月7日	東小磯	鈴木 昭夫	20	ニシキギ	(未詳)	国府本郷	内山 千代子
7	ガガイモ	12月12日	虫窪	吉川 武士	21	ニセジュズネノキ	12月14日	高麗	鈴木 昭夫
8	ガマズミ	11月19日	国府本郷	北水 慶一	22	ノササゲ	12月1日	高麗	宮原 恒雄
9	カラスウリ	11月10日	西小磯	保坂 匠	23	ノブドウ	11月10日	西小磯	吉川 武士
10	キカラスウリ	11月10日	国府本郷	宮原 恒雄	24	ヒヨドリジョウゴ	12月12日	虫窪	吉川 武士
11	クコ	(未詳)	大磯	中村 ふぢ	25	ピラカンサス	11月21日	西久保	村田 愈子
12	クサギ	11月10日	西小磯	宮原 恒雄	26	ムラサキシキブ	11月10日	西小磯	宮原 恒雄
13	クチナシ	11月30日	国府新宿	簗島 淳子	27	ヤブコウジ	11月24日	国府本郷	北水 慶一
14	サネカズラ	12月12日	虫窪	吉川 武士					

3. 学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬』の開催

調査は2月3日までであったが、調査が完了する43日前の12月22日から学習参考資料展を開催した。学習参考資料展という展示名称にしたのは、小学校理科「生き物のくらし(4)冬の自然」、中学校理科の「植物の世界」の学習に合わせた展示内容にしたことによる。

展示の準備は、調査に参加された方々にもご協力いただいた。12月16日、12月18日、12月19日の3日間で、調査結果の集計として、種類ごとに地図上の確認地点に丸いシールを貼る作業を行なった。

展示の構成は、「赤い実をつける草木の分布」、「ドングリをつける樹木の分布」、「帰化植物の分布」、「冬の花の色々」、「果実の色々」、「町中の大きな木」、「町中の珍しい木」、「ドングリの色々」、「マツボックリの色々」、「木の実の色々」の10のテーマで構成した。

「赤い実をつける草木の分布」、「ドングリをつける樹木の分布」、「帰化植物の分布」はそれぞれの対象植物の分布状況を地図で紹介した。

「冬の花の色々」、「果実の色々」は調査期間に確認した冬の花、果実の写真を紹介するものであった。内容としては、立冬(11月7日)から立春の前日(2月3日)までの期間に大磯町内で撮影された花、果実の写真を展示するものであり、調査に参加された方はもちろんのこと、チラシや展示を見られた一般の方からもご提供いただいた。最終的に当館職員を含めて11人の方々からご提供いただいた。会期中に徐々に手を加え、学習参考資料展初日の写真の展示枚数は44枚であったが、最終的に52枚となった。季節的に徐々に見られる花や実が減っていく時期であったため、春、夏、秋の展示に比べ、写真の枚数が数多く増えることはなかった。展示した写真の一覧を表1、2に紹介する。

「町中の大きな木」、「町中の珍しい木」は、大磯町の地図に大きな木、珍しい木を確認した場所を表示し、あわせて種名も記した。図23、24のとおりである。

また、参考資料として「ドングリの色々」、「マツボックリの色々」、「木の実の色々」において乾燥させた植物標本を展示した。

4. まとめ

当初、冬の植物の展示を計画した際は、展示資料を十分に集めることが難しいと思われた。そのため、状況によっては、学習参考資料展「みんなで調べた大磯町の花と実 2012・秋」の展示資料を一部使用して展示しようと考えたため、同展からあまり期間をおかず企画展を開催した。しかしながら、調査を

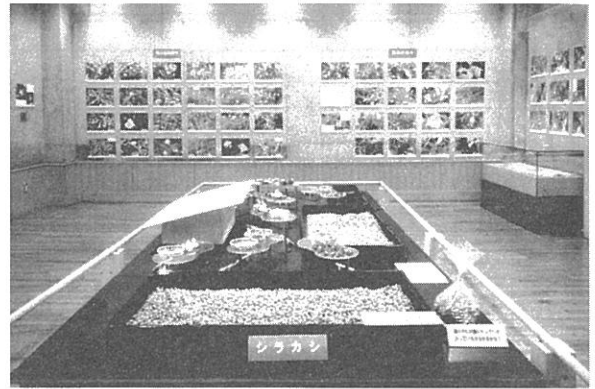


図25 展示風景

とおして企画展示室が十分にうまる量の資料を集めることができた。

これまで春、夏、秋の植物をテーマにした展示では写真が中心の展示となっていたが、本展では乾燥させた実物資料を多数展示することができ、見栄え、見ごたえという点ではこのシリーズの中で最もよいものができたと思われる。

これで四季の植物調査をひとつおりのり終えたことになるが、郷土資料館周辺で見られる植物も毎年、少しずつ変化が見られている。また10年程度の期間において同様の調査を行なうと意義のあるデータが蓄積できると思う。あらためて、数年後に調査を行なってみたい。

最後に調査及び展示準備にご協力いただいた方の名前を記して、感謝申し上げる。

秋山京子・鶴飼レイ子・内山千代子・大久保恵美子・大久保武・小野恵子・加藤喜規・川瀬和江・川原一恵・菊池なつみ・国生ちひろ・国生美香・国生竜之介・小山由雄・清水和子・鈴木昭夫・外川敏子・中村ふぢ・畠山恵子・服部通代・曳野義子・布施鈴子・保坂匠・松島まり子・簗島淳子・宮川紀子・宮原恒雄・村上敦子・村田愈子・柳田利幸・柳田道雄・吉川武士 (敬称略)

5. 参考文献

- 神奈川県植物誌調査会編(2001)『神奈川県植物誌 2001』神奈川県立生命の星・地球博物館
北水慶一(2014)「講座『みんなで町の自然を調べよう～秋の七草の分布しらべ～』及び学習参考資料展『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012・秋』の実施報告」『大磯町郷土資料館年報-平成24年度-』大磯町郷土資料館
北水慶一(2014)『みんなで調べた 大磯町の花と実 2012-2013・冬 調査結果』大磯町郷土資料館
自然環境研究センター(2000)『第6回 緑の国勢調査 身近な林(秋冬調査編) 調査のてびき』環境省自然環境局生物多様性センター

大磯町大磯地区北下町の御札資料からみる信仰範囲

* 保坂 匠

1. はじめに

大磯町郷土資料館(以後「郷土資料館」)は3家から寄贈された多数の御札資料を収蔵している。これらの御札資料は、天井裏の柱に括り付けられていたものや倉庫に仕舞われていたものである。一般的に御札とは、神棚、厨子などに祀られ一年経つと交換され古い御札はドンドヤキなどで焚き上げられる。しかし、焚き上げられずに天井裏などに多量に仕舞われ、火除けなどの効果があると信じられている事例がある。これを幾つかの研究では千枚札と呼んでいる。

千枚札は、四国から北関東まで発見の報告がある。しかし、報告書の様に文字化されることが少なく、どれほどの範囲と密度をもって行なわれていた習俗であるかは定かではない。

大磯町においてはどうかであろうか。昭和63年に行なわれた大磯町民家調査の際に撮影された古民家の天井裏の写真が残されており、この写真の中には天井裏の柱に御札が括り付けられている写真も見られる。この写真から判明している千枚札をもつ家は、生沢と寺坂に1家ずつである。加えて郷土資料館に御札資料が収蔵されている真壁家を合わせた3家は、天井裏の柱に御札を括りつけた千枚札の習俗が行なわれていた事がわかる。また千枚札であるかは不明だが、郷土資料館の収蔵資料には、虫窪地区古正家からも多くの御札資料が寄贈されている。前号で述べた山口家も合わせると大磯町内だけでも5つの家で千枚札の可能性のある事例、千枚札でなかったとしても御札を焚き上げずに仕舞っていた事例が見つかっている。

表.1 発行元寺社と点数

寺社名	所在地	点数	祈願・内容
高来神社	大磯町	28	家内安全
妙大寺	大磯町	13	家内安全、祭星
楊谷寺	大磯町	1	家内安全
吾妻神社	二宮町	3	
川勾神社	二宮町	1	家内安全
大山寺	伊勢原市	76	家内安全、節分会福御守
阿夫利神社	伊勢原市	6	家内安全、御守、属星守護
比々多神社	伊勢原市	13	家内安全、営業繁昌、御守
真田神社	平塚市	11	家内安全、病魔退散
天徳寺	平塚市	14	家内安全、疾病平癒
不明	平塚市須加	1	蟲封
城光院	秦野市	5	商業繁昌、社中安全、家内安全
白笹稲荷	秦野市	8	家内安全、火盗消除
寒川神社	寒川町	6	家内安全
宝寿寺	小田原市	11	家内安全、疾病平癒
吉浜稲荷	湯河原町	1	家内安全、子孫長久
大師堂	湯河原町	1	
最乗寺	南足柄市	98	家内安全、商売繁昌、当病平癒、講中安全
龍口寺	藤沢市	1	
平間寺	川崎市	31	家内安全、災厄消除、延寿
遍照院	横浜市	13	家内安全、商売繁昌、心願成就
富士浅間神社	山梨県富士吉田市	1	家内安全、商売繁昌

(* 当館学芸員)

さて、この千枚札の習俗は既に失われていることが多く、解き明かすのは非常に困難である。しかし、保管されていた御札を整理し、分析する事で当地の人々がもっていた信仰を理解する助けになってくれる。

『大磯町郷土資料館年報 平成24年度』では大磯町国府本郷地区中丸の山口家旧蔵の御札資料を受領寺社から信仰の範囲を分析し、3つの密度圏に分類し得る可能性を示した。この3つの密度はそれぞれ、近隣寺社であり生活圏とも言える「高密度圏」、周辺地域(県下など)から信仰を集める寺社を含む「中密度圏」、全国的に信仰を集める代参などの講によって詣でる寺社を含む「低密度圏」とした。この3つの密度圏による信仰範囲が普遍的であるか真偽を確かめるためには民俗誌と照らし合わせる必要や他家の千枚札、御札資料からも同じ分類が可能であるかを分析し、その結果を蓄積する必要がある。本稿では郷土資料館に寄贈された御札資料の内、目録化が終わった北下町の真壁家資料を紹介するとともに、同様の分類を行い、データを蓄積、山口家資料との比較を通して3つの信仰範囲の分類法を検証する事を目的とする。

2. 真壁家と御札資料

真壁家は大磯町大磯地区の北下町に位置している。北下町は明治期から昭和期にかけては大磯港に程近い漁師町として、そして別荘と関わる商人や職人も居る町であった。真壁家は現在3代目で、文久2年生まれの前代当主真壁時次郎が明治期に畳屋を始め、岩崎家などの別荘の畳も張替えたとのことである。

真壁家の初代と2代目の当主は「道了尊(ドウリュウサン)」の講元をしていた。昔は正月、5月、9月の27日、28

寺社名	所在地	点数	祈願・内容
本宮浅間神社	静岡県富士市	2	
浅間神社奥宮	富士山山頂	2	
久能山東照宮	静岡県静岡市	1	
明治神宮	東京都渋谷区	1	
穴守稲荷	東京都大田区	5	
新勝寺	千葉県成田市	11	家内安全
鹿島神宮	茨城県鹿嶋市	1	
日光東照宮	栃木県日光市	1	
豊川稲荷	愛知県豊川市	1	開運御守
高室院	和歌山県伊都郡	3	新年祈祷
丸山教		25	家内安全、商業繁栄
愛国婦人会		1	
宇賀神社		2	家内安全
御嶽神社		1	
出雲大社		1	
神道京式数院		5	家内安全、商業繁栄
浅間神社		4	
東照宮		1	
八幡神社		2	
妙法稲荷・笠間稲荷		1	
鷲神社		4	開運、家運長久
不明		36	
合計		454	

日に大祭だった。27日に行って、坊に泊まり、28日に拝みに行く。講には下町の人々が加入しおり毎月掛け金を何銭か貯めて、皆で電車に乗って詣でていた。戦前は講が残っていたが、もうやらなくなったとのことである。

真壁家旧蔵の御札資料は、改築の際に天井裏から見つかった。天井の柱に括られていたそうである。この千枚札を行なう理由は伝えられていないが、現当主は「火事を起こさないため、家がうまくいくようにではないか」と考えている。現当主の代にはドンドヤキでお焚き上げるようになっていたため、千枚札については知らなかったようである。

御札の総点数は、454点に上る(内訳は表1参照)。その内、発行寺社が判明している御札は369点である。東は千葉県新勝寺から西は和歌山県高室院までの地域で発行された御札である。中でも特に多いものは98点の南足柄市最乗寺、82点の大山関係(大山寺、阿夫利神社)である。

内容を見ると多くは「家内安全」、「商業繁昌」、「病氣平癒」である。「家内安全」、「商業繁昌」に関しては参拝の際に良く祈られる普遍的な願いであろう。一方「病氣平癒」は、直面した災い(病氣)に対する願いである事から他の祈願内容と分けて考えるべきであろう。「病氣平癒」に関する御札は24点、内10点が平塚市天徳寺、4点が平塚市真田神社、5点が小田原市宝寿寺、4点が南足柄市最乗寺、1点が伊勢原市大山寺である。最乗寺と大山寺は大磯や周辺地域において信仰の一大中心地であるため、多様な祈願がされている。一方、天徳寺、真田神社、宝寿寺は真田(佐奈田)与一の伝承が残る寺社で咳に効能があると言われている。これは特定の御利益のある寺社に参っている事例と考えられる。

その他、御札に書かれた内容から判る事として、参拝した時期がある。大山寺や比々多神社の御札には「元旦」と書かれたものが7点と5点、大山寺もしくは阿夫利神社から「節分」と書かれた御札(「節分会福御守」(図.1)とセットになっている)が15点あり、1年の内特定の時期に参拝していた事が窺える。節分の時期に大山に詣でていたことは、『大磯町史 別編 民俗』で「この日(節分)、伊勢原市の大山へ撒きに行く人もいた」とあり、湯河原などでも節分



図.1 「節分」とある箱札とセットの節分会福御守



図.2 最乗寺の御札



図.3 大山寺の御札

に大山へ参拝する事例がある。大磯町だけでなく周辺地域でも広く行なわれていた習俗である。

御札の形態は、約300点が木の枠に紙の御札を入れた箱札の一種である(図.2、3)。その他には紙札が約100点、木の祈禱札などもみられる(「約」としたのは木枠が壊れて中の紙札だけになっている場合などあるため正確な点数は示す事ができないためである)。変わったものでは正月のポストカードがある。頭に鏡餅を載せた牛が描かれており、年賀葉書が普及する以前のものかもしれない。

3. 真壁家の御札資料からみる信仰圏

信仰圏の分類は、山口家にて試みた3つの密度圏を用いる。山口家資料の分析において現在の行政単位では明確に分けられないことが示されたため、寺社の密度圏から3つに分類したものである。

なお3つの密度圏を書き入れた地図を作成した。参照していただければ幸いである。

①. 高密度圏

高密度圏は、東を寒川神社、北を大山、西を秦野市城光院とした。高密度圏では各寺社間の距離が5キロメートル以内で構成される範囲を想定していたが、寒川神社や秦野市城光院など地域性があり点数も多いため例外的に高密度圏としている。山口家の分類で行なったものと同様に約20キロメートル圏内となった。

大磯町内では大磯地区の氏神である高来神社28点、真壁家が畳屋として仕事をした日蓮宗の寺院である妙大寺13点、そして妙大寺の資料は星の廻りに関係する星祭の御守である。天台宗楊谷寺1点。二宮町では弟橘媛命の櫛が流れ着いたと伝えられる吾妻神社3点、相模国二宮であり国府祭に参加する川勾神社1点、平塚市では真田与一の伝承が残り、咳に効くと伝えられる真田神社11点と天徳寺14点、寺院名は不明であるが須賀の寺1点、ここからは瘡の虫封の御札が出されている。伊勢原市では関東一円で信仰されている大山の寺社である大山寺85点と阿夫利神社6点、相模国三宮で国府祭に参加する比々多神社13点、秦野市で

は関東三大稲荷として知られ稲荷の小祠などに祀られることが多い白笹稲荷8点、かつて住職が所謂「見る人」で古いような事をしており周辺では見てもらう人が多かったと伝えられる城光院5点。寒川町では相模国一宮であり国府祭に参加する寒川神社6点が挙げられる。

高密度圏の特徴を各寺社の発行数から見ると、5点から20点未満の寺社の多くがこの範囲にある事、そして高密度圏内では大山関係の御札が飛びぬけて多い事が挙げられる。特に5点から20点未満の寺社には真田神社や天徳寺、城光院など特別な効能や理由があり詣でている可能性がある寺社である。大山関係の点数が多いのは大山に対する信仰が厚く、節分や正月などに定期的に詣でていたからである。

②. 中密度圏

中密度圏は、北東を明治神宮、西を富士浅間神社、南を湯河原町大師堂といった神奈川を越える範囲である。各寺社間 50 キロメートル圏内で構成する範囲とした。大磯地区からは約 100 キロメートルの範囲となった。

小田原市では佐奈田与一の伝承が残る宝寿寺 11 点、湯河原町では 11 月 10 日農具市が立てられ平塚や秦野の人が来訪していた吉浜稲荷 1 点。湯河原町大師堂 1 点、南足柄市では僧道了が天狗となったと伝えられ「道了尊（ドウリュウサン）」とも呼ばれる曹洞宗最乗寺 98 点、藤沢市では日蓮宗龍口寺 1 点、川崎市では「川崎大師」の名で知られる真言宗平間寺 31 点、横浜市では東国八十八カ所霊場 16 番である真言宗遍照院 13 点、東京都渋谷区の明治神宮 1 点、大田区の穴守稲荷 5 点、富士山に関する神社は 3 社もこの範囲に入る。山梨県富士吉田市富士浅間神社 1 点、静岡県富士市本宮浅間神社 2 点、富士山山頂浅間神社奥宮 2 点である。

中密度圏の特徴は、真壁家が講元をしていた最乗寺や大山寺に次いで 3 番目に点数が多い平間寺を含んでいる点である。これらの寺院は神奈川県を中心とした周辺県でも信仰を集めている。一方で富士山信仰に関する寺社の御札が少ない。これは丸山教の影響であろうか。

③. 低密度圏

低密度圏は、北は栃木県日光東照宮、東は千葉県新勝寺、南西は和歌山県高室院となった。

静岡県静岡市では徳川家康を祀る久能山東照宮 1 点、同様に栃木県日光市の日光東照宮 1 点、千葉県成田市では成田山新勝寺 11 点、茨城県鹿嶋市では鹿島神宮 1 点、愛知県豊川市では豊川稲荷 1 点、和歌山県伊都郡では戦国時代から相模国と関係をもつとされる高野山高室院 3 点である。

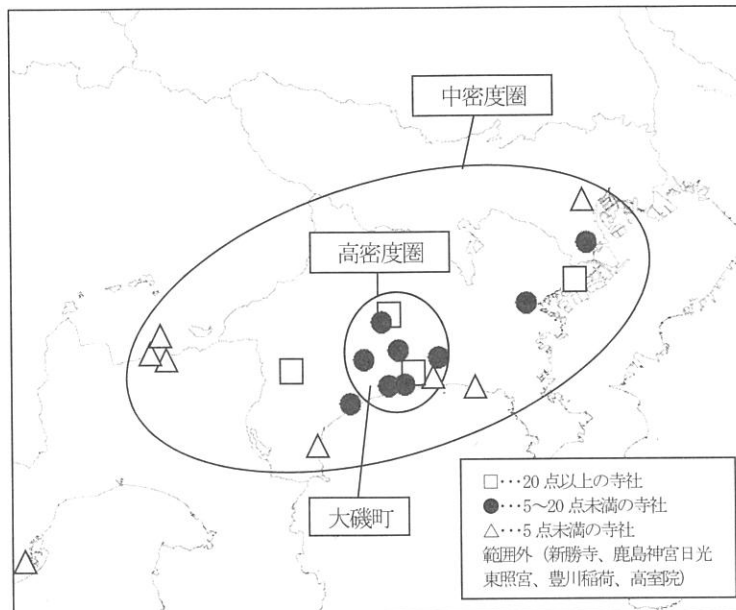
低密度圏の特徴は、新勝寺を除き各寺社とも点数が少ない事が挙げられる。定期的に詣でていた可能性は低く。江戸時代から見られることであるが、観光の土産として買われた可能性がある。一方で新勝寺は、北下町に成田講があったことがわかっており、現在でも老人会で定期的に詣でているそうである。

④. その他

明治期に富士山信仰の講から発生した宗教である丸山教 25 点。富士山周辺の神社から受けてきた御札の点数である 5 点と比べると格段に多い。これは御師の衰退と北下町における丸山教の活動が活発に行なわれていた事を物語っている。御師の衰退は御師の名が刷られた御札が見られないことから、富士山だけでなく御師全体に言えることである。

4. おわりに

以上 3 つの密度圏は、高密度圏約 20 キロメートル範囲、



地図 神奈川県周辺の社寺密度(テクノコ白地図イラスト: <http://technocco.jp/>)

中密度圏約 100 キロメートル範囲、低密度圏関西から関東であり、山口家の 3 つの密度圏と近いものになった。

しかし、山口家と比較してみると真壁家資料には、御師から頒布された御札が見られないことが判る。これは明治期以降の千枚札の特徴と考えられる。なぜならば、明治期になると明治政府の方針により御師制度は衰退し、生き残っていても先導師などに名前を変えているからである。山口家資料が江戸期の御札である裏付けとも言えるだろう。

密度圏と各寺社の点数を比較した場合、山口家資料では密度が高いほど点数が多い傾向であったが、真壁家資料では数量による変化は顕著ではない。ただし、5 点から 20 点未満の寺社が高密度圏に比較的多くみられた。

全国的に頒布されているはずの伊勢神宮の御札「天照皇大神宮」は、2 家の資料とも見られない結果となった。伊勢参りは江戸期には行なわれており、明治期には毎年氏神の神社から買うようになっているはずである。よって多く確認できると考えていた。現在では神棚に祀る御札としてセットで頒布されており、必然的に毎年交換しているものである。伊勢神宮の御札が見られないのは、残す御札の選択が行なわれた形跡と考える事も可能であろう。今後も同様の分析結果を蓄積していく事で、御札、千枚札、信仰範囲などへの理解を深める必要がある。

最後にお忙しい中貴重なお話をお聞かせいただいた真壁氏にこの場を借りて御礼申し上げます。

参考文献

- ・大磯町『大磯町史 8 別編 民俗』、2003 年。
- ・大磯町『大磯町史民俗調査報告書五 大磯の民俗(二) 大磯・東町・高麗地区一』、1998 年。
- ・西海賢二『湯河原の民俗』、『湯河原町史研究 1』湯河原町、1983 年。
- ・保坂匠「大磯町国府本郷地区山口家の御札資料からみる信仰範囲」、『年報 平成 24 年度』大磯町郷土資料館、2014 年。

年 報

平成 25 年度

◇ 平成 26 年 8 月 29 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660